今和2年度宝績

宣	杣	<u>3年</u>	度 事務事	業評価表	令和2年	送美績)			
事	务事	業名	海岸保全族	施設長寿命化事業費	Ī			担当所属	水産課	
基	分	野	4安心安全				事業期間	平成29	年度 ~	
本情	基	本施策	1 災害に強い	まちづくりの促進			会計種別			
報	推	進施策	4 津波·高潮対	対策の推進			実施計画		総合戦略	
			海岸保全施設背後			•				•
	\$	付 象								
			海岸保全施設を波	な浪や高潮による被害から守る	るため、海岸堤防の約	持管理に要する	5費用の縮減や平	準化を図りつつ、	施設の老朽化対	策を計画的に進
事業	Ā	意図	め、国土及び背後	地住民の生命、財産の保全	を図る。					
概			海岸保全施設の機	幾能を、今後長期にわたって発	έ揮させることができる	•				
要	J.	成 果								
			海岸保全施設の表	ど朽化診断を行い、長寿命化	(計画を策定し、計画	保全工事を実施	する。 給·大	島漁港 : 1箇列	f 大津島漁港	
	Ę	手段	: 5箇所 戸田	田漁港 :7箇所 福	川漁港 : 2箇月	f 指標の海岸	保全施設の長寿	命化計画策定額	熱港数については、	海岸保全施設区
			域数とする。							
				指標名		単位	H30年度実終	H31年度実	績 R2年度実績	積 R3年度見込
指	:=	動指標	海岸保全施設の)長寿命化計画策定漁港	目標値	箇所	5	7	2	0
標	心	劉 伯尔	数		実績値	箇所	5	7	2	-
					目標達成度	%	100.0	100.0	100.0	-
			(単位:千円)	平成29年度決算	平成30年度湯	院算 平成3	1年度 決算	令和2年度	決算 令和	03年度予算
		-タルコ		7,990	, -	375	14,066		.6,893	16,615
		事業費		5,043		305	11,525	1	.3,673	13,037
		特	国庫支出金	2,521		542	3,283		5,172	5,500
			県支出金	857	5	576	1,116		1,758	1,200
		в→	地方債	0		0	4,900		2,300	5,900
ス		源	受益者負担	0		0	0		0	0
۲			その他	0		0	0		0	0
			投財源	1,665		587	2,226		4,443	437
		人件費		2,947		570	2,541		3,220	3,578
			世	2,947	2,5	570	2,541		3,220	3,578
			睵員以外	0		0	0		0	0
			事業費集計済分)	(0)		(0)	(0)		(0)	(0)
		哉員 ※長い	(人)	0.40	0.3		0.35		0.45	0.50
貝	_	哉員以		0.00	0.0	U	0.00		0.00	0.00
	强比	治時の)	周辺環境							
				・ 策定(国目標)に基づき、平						

現状の周辺環境 辺

環

境

平成29年度に粭大島漁港、平成30年度に大津島漁港、平成31年度に戸田漁港において計画策定を完了した。国策としてストックマネジメントが推進されており、 令和2年度福川漁港の策定をもって全漁港海岸の長寿命化計画の策定を完了した。

今後の予想される周辺環境

施設の老朽化への対応や費用の平準化のため、確実な点検調査と計画的な機能保全工事の実施が不可欠である。

	川巴市文で	の名竹にへの対応で負用の十字ものため、唯実な点	快响且CiT画的	的な版形体土工事の大胆が下り入しのる。
		評価項目	評価	評価の理由
	妥 _	1. 市の関与(税金支出)	Α	市が管理する海岸保全施設の長寿命化対策であり、市が関与すべきものである。
	当员	一)	Α	
	性	3. 事務事業の目標(活動指標等)	Α	
	_	4. 計画の実施状況	Α	長寿命化計画に基づき、本事業を計画通り実施できた。
	有効	5. 目標(活動指標等)の達成度	Α	
評	性	6. 上位施策への貢献度	Α	
価	11	7. 事業成果の向上へのさらなる取組み	Α	
	効	8. コスト削減へのさらなる取組み	Α	安全性や経済性を検討し、最適な手段で実施している。
	率	9. 類似事業との統合・代替の検討	Α	
	性	10. これまでの実施手段	Α	
	総	海岸保全施設の機能維持を図るために必	要な事業であり	、長寿命化計画に基づき機能保全工事を実施していく必要がある。
	合評	A		
	価			
	今後(の実施方向性 維持 計画	的かつ効率的な	⊋事業執行に努める。

成果方向性 成果維持 コスト方向性 コスト維持 革

) 		未計価衣	<u> </u>	77711 4 4		· ·	,		1	
事	务事	業名	新規漁業就	就業者定着促進	事業費					担当所属	水産課	
基	分	野	6産業・観光						事業期間		~	
本	基本	卜施策	1 農林水産業	の振興					会計種別			
情 報	推近	進施策	1 新たな担い						実施計画	該当	総合戦略	該当
TIA				望者 新規漁業就業者	ž				7 3			
	欬	象	1,11,10,111,21,112		-							
			水産業を支える担	い手の確保・育成を図	るため、研		自立化等	を経済的	に支援し、漁業	就業者の地域に	宇着を図る。	•
事	章	図	7.2×c×/col2	VI WEEK HAVEE	W/C07(11/	1191/20111	J 22 10 ()	C41/11P		370× G 97-G-307	CH CH O	
業	,	` —										
概			新規海業就業希望	望者の確保 新規漁業	就業者の	n定着						
	ьt	、果	4717907/11/2		.37024 🗖 🕶),C-E						
要	12%	. ~										
			立:H\A\\+\+	定着支援事業 経営自	ユナルナ	医电光 红银洛	***	<i>/</i> +⇒++	平市学 东扫海	*****	- 大文甘松乾芹市 ************************************	ナー おおまっかい サリ
	_			E.有文拨争耒 控名 E 平成17年度以降、新						未别来白土冶	*土性基盤登佣事業	指標の新規
	Ŧ	段	農業が未有数は、	干成1/干及以降、机	別に思ま	経呂を開始した	.人致の糸	≣। ୯ଉଚ	10			
				指標名				位	H30年度実統	責H31年度到	€績 R2年度実績	R3年度見込
指	注重	抛指標	新規漁業就業者			目標値	,	ل	10	10	11	12
標	/U±	WIEIW.				実績値	,	Ļ.	7	7	9	-
						目標達成度	Q	%	70.0	70.0	81.8	-
			(単位:千円)	平成29年度 決	算 平	² 成30年度	決算	平成3	1年度 決算	令和2年	度 決算 令和	13年度 予算
	7	タルコス	۱.	4,2	17	6,	.171		6,948		10,572	10,497
	1	事業費		2,3	75	3,	,968		4,770		8,068	7,993
			国庫支出金		0		0		0		0	0
		يا جا	是支出金	1,1		1,	.875		2,100		3,812	3,767
_		B-4 ^	也方債		0		0		0		0	0
ス		1 13	经益者負担		0		0		0		0	0
١		源	の他		0		0		0		0	0
			財源	1,1	88	2,	.093		2,670		4,256	4,226
		人件費	合計	1,8	42	2,	,203		2,178		2,504	2,504
		正職		1,8	42	2,	,203		2,178		2,504	2,504
			員以外		0		0		0		0	0
			業費集計済分)		(0)		(0)		(0)		(0)	(0)
	正職		(人)	0.2			30		0.30		0.35	0.35
員		員以外		0.00)	0.	00		0.00		0.00	0.00
			辺環境									
	新規	漁業就	業者の確保及び定	着を促進する。								
周												
辺		で同辺										
環	平成	17年度	から9名が新規漁業	(就業者として自立して	いる。また	、現在1名が研	修を行って	いる。				
境												
-70	今後	の予想	される周辺環境									
	新規	漁業就	業者の確保及び定	着の促進は緊急の課題	₹.							
			評価項	目		評価				評価の理由		
	妥_	1. 7	5の関与(税金3	支出)		A 新規法	魚業就業	者の確保	及び定着の促進	性は緊急の課題	である。	
	当日		務事業の目的	(対象・意図)		Α						
	当的性		野事業の目標			Α						
				(/口卦))日(水石/			フケー	このなが	C+B:A.************************************	니 구스뉴I 구I	ハる。また、現在1名	
	有		†画の実施状況			z	1/牛皮川	ファロルオ	打戏: (忠亲) (COCHTOC	んの。また、光江1石	プルガラを行うしてい
	効	5. E	目標(活動指標等	等)の達成度		B ಾ						
評	性	6. J	上位施策への貢献	忧度		В						
価	1.	7. 引	翼成果の向上/	へのさらなる取組み		В						
	効	8	スト削減へのさら	なる取組み		A 漁業	者の増加(向けて重	重要な事業である	5.		
	率		頭似事業との統合 かんきょう かんきょう かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん			Α						
	性											
		10.	これまでの実施		_	Α						
	総		漁業者の増加に	向けて重要な事業であ	る。							
	合	Α										
	評	'`										
	価			<i>,</i> ,,,,	₩-¬ L	/ A+++ **+	15545 ± =	D /= L/2-	5C+B:42 *** + 1 *** +	(A)#####		
		の実施		維持事	美ノキー.	ムの拡充及び積	型的なP	K により	新規漁業就業者	が瑁加を凶る。		
改	成果	方向性	<u>Б</u>									
革	コス	卜方向	4 ¬	スト維持								
			 (どのような効果が									
案	₩Ŧ	-/1J/K	こういうのかれ	MIN CCON)								
_	Ì											

令	和:	3年	度 事務事	業評価表 (令和	2年	度実	績)				
事	务事	業名	水産物市場	易施設維持管理費						担当所属	水産課		
基	分	野	6産業・観光						事業期間			~	
本		本施策		の振興					会計種別	地方卸売市	場事業特	捌会計	
情報		生施策							実施計画	0.72.701		合戦略	
+IX	,,,,,		市場施設及び機械						700011		410-1	H-1W-H	
	文	力 象		械設備の保守管理を行い、	市場施設·該	设備の機	能維持	寺を図る。					
事業	意	区	市場施設の機能級	持を確保することで円滑な す	担调党 扩成	さかる							
概要	Б	花 果											
	Ŧ	€段	●施設機能の保持 の計画的な修繕と	に係る修繕・更新の実施 (更新の実施	1)施設・設備	前の日常	点検の	D実施 (2))消防・電気・空	᠄調·機械設備の	D保守点核	後 (3)予防	「保全の観点から
				指標名			į	単位	H30年度実	績H31年度詞	桟績 R2 ∶	年度実績	R3年度見込
指	*==	勧指標	維持管理工事・	修繕件数	目標	値		件	20	20		20	20
標	石事	助拍倧			実績	値		件	17	15		18	_
					目標達	成度		%	85.0	75.0		90.0	-
			(単位:千円)	平成29年度 決算	平成30		·算	平成3:	1年度決算	令和2年	度 決算	令和	3年度予算
	 	タルコス		31,950		34,5			23,116		28,929		64,056
	1	事業費		28,266		32,6			21,301		22,489		59,763
		特	国庫支出金	0			0		0		C)	0
			県支出金	0			0		0		C)	0
J		定	也方債	0		10,5	00		0		C)	37,400
ス		財	受益者負担	15,814		15,4	.93		14,906		15,738	3	3,443
١.		265	その他	, 0			0		. 0				12,208
'			以 以 以 以 以 以 以 以 以 以 以 以 以 以 以 り り り り り	12,452		6,6	_		6,395		6,751		6,712
	F	人件費		3,684		1,8			1,815		6,440		4,293
	1	正職		3,684		1,8			1,815		6,440		4,293
			 战員以外	0			0		0		<u> </u>	_	0
				(0)		((0)		(0)		(0		(0)
人	正罪	損	(人)	0.50		0.25			0.25		0.90		0.60
員	正雕	関リタ	(人)	0.00		0.00			0.00		0.00		0.00
	開始	時のほ	可 同辺環境										
				定的に供給するために必要な	市場施設を	整備。							
周													
辺		代の周辺											
環	施設	・設備の	き朽化が進んでいる	る。限られた予算の中で市場の	の機能維持を	確保する	るため、	優先順位	を設定して修繕	・・更新を実施し	ている。		
境	A 45	ムの文は	思される周辺環境										
					· +※+++=□/=-	خخرا- +\ر ،	7+ =1	- Table + 1 Table 1	なによくじナジニテン 14/	%45.0#++ L = ≠	会ルナンH v	トファレ バー)	4047
	建政	(1女404	-が程週してのり、人が	規模な施設改修が必要となる	2。1戏1戏6又7用:	寺にのい	COEI	画的な史	材1みこで11いいな	対形形付く1文分	四110で1年0	りのここいぶ	w51 to.
			評価項	i A	評価					評価の理由			
		1. i	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	·		公設市場	場として	て、周南市			その運営上	、市が行う	べき部分に関する
	妥当	2 5	事務事業の目的			事業でも	あり、市	5民に安心	で安全な新鮮な	・水産物などを3	定定供給す	るとともに、	生産者の販売
	性的	'	事務事業の目標		_	ルートを	確保す	するという役	割を果たす上で	重要な事業でも	ふる 。		
				(加到旧标节)	A	±+E ++	- /- =n.=n	1./#.a.#%4K	+ 4#+++ - T / -		ヘャー・サル		ΔΔ.1- /₩4Δ.+- Z.Z.1.
	有		計画の実施状況										的に供給すること
	効	5.	目標(活動指標等	等)の達成度	D								確保に資するとと シチチトーナン恵業展問
評		6	上位施策への貢献		1 A I			用い作行り	エミュアン	こによりし印場に	コルコして行	いいりくようん	お新たな事業展開
価	性	7.	事業成果の向 トノ	へのさらなる取組み	Α	も考えら	れる。						
Щ	九十		コスト削減へのさら			空発的:	な修繕	動が広や	老朽化した継ば	設備等の機能	維持と面室	斤を行ってい	るが、予防保全
	効												を図る必要があ
	率		領似事業との統合	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	_ ^	の 武 派 、	3 JUJA	· 1/0// ///0//	7-100 / 1XIO	かい ファンスロング ログ	,,L,,D/X()	TXV1 nn I ().	CH 0%1.8(1) (0)
	性	10.	これまでの実施		Α								
	848			画的か再新や機械設備促5	中等理を行い	松台七丝	出去にも	奴从ス					I

Α

機械設備等の計画的な更新や機械設備保守管理を行い、機能維持に努める。

市場の機能低下や衛生管理等の状況を把握し、市場施設の計画的な更新・整備が必要である。 今後の実施方向性 維持 成果方向性 成果維持

コスト方向性 コスト維持 革 改革効果(どのような効果が期待できるか)

市場の安定的な機能維持の確保。維持修繕コストの平準化。

令	和	3年	度 事務事	業評価表 (令和2年	度実績)			
事	务事	業名	水産物市場	易管理一般事務費				担当所属	水産課	
基	分	野	6産業・観光				事業期間		~	永年
本情	基	本施策	1 農林水産業	の振興			会計種別	地方卸売市	場事業特別会計	
報	推	進施策	2 生産基盤の	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			実施計画		総合戦略	
		寸 象	●周南市を含む近	[隣住民 ●市場関係者				•		
	`	אפּר הי								
事業	Ē	意図	適正かつ健全な運	営を確保し、生鮮食料品等	の取引の適正化とそ	の生産及び流	通の円滑化を図る	0		
概要	Б	成 果	生産者の販売ルー	トの確保・生鮮食料品等を	適正な価格で安定的	のに供給し、市」	民等の消費生活の	安定を図る。		
	117	F 段	●法令遵守の励行	」と適切な管理運営の実施	●市場内での課題が	解決のため、卸	〕売業者・仲卸業者	・買参人等との	協議、調整	
				指標名		単位	H30年度実	績H31年度詞	実績 R2年度実績	R3年度見込
指	*	動指標	水産物市場取扱	及量	目標値	トン	1013	945	927	900
標	/[]	勤]日 伝			実績値	トン	886	813	679	-
					目標達成度	%	87.5	86.0	73.2	-
			(単位:千円)	平成29年度決算	平成30年度	決算 平成	3 1年度 決算	令和2年	度 決算 令和	13年度 予算
		タルコ		7,171		090	3,662		8,862	4,828
		事業費		1,946	1,8	898	1,992		2,422	2,681
			国庫支出金	0		0	0		0	0
_			県支出金 地方債	0		0	0		0	0
			^{心刀恨} 受益者負担	1,362	4 '	329	1,394		1,693	1,877
スト		い苦し	文量自兵担 その他	0	1,.	0	1,394		3	3
r			ての他 g財源	584		569	598		726	801
	-	<u></u>		5,225		192	1,670		6,440	2,147
				3,537	•	542	1,670		6,440	2,147
			職員以外	1,688		650	1,739		2,174	2,369
			F業費集計済分)	(0)		(0)	(1,739)		(2,174)	(2,369)
	正邦	00000000000000000000000000000000000000	(人)	0.48	0.2	\ · /	0.23		0.90	0.30
員	正耳	00000000000000000000000000000000000000	外 (人)	2.00	2.0	00	2.00		3.00	3.00
	開如	台時の原	司辺環境							
	生產	全者の販	売ルートの確保と市員	民に安心・安全な水産物を発	安定供給するために開					
周										
辺	現	犬の周辺	辺環境							
7.3	V 24	4.07 = ±		_\= - \phi \\\ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		·				

環

漁業従事者の減少・高齢化に併せ、流通の多様化などにより、市場での取扱高が年々減少している。

今後の予想される周辺環境

少子高齢化、単身世帯の増加などが進み、内食率の低下と中食率が増加する中で、市場の主要顧客である小売店への仕向け割合は減少傾向に進む。また、産地との

	直接	取引やネット	取引などの市場外流通が拡大して	いく。	
			評価項目	評価	評価の理由
	妥 _	1. 市の	関与(税金支出)	Α	公設市場として、周南市地方卸売市場条例に基づき、その運営上、市が行うべき部分に関する
	当島	2. 事務	事業の目的(対象・意図)	А	事業であり、市民に安心で安全な新鮮な水産物などを安定供給するとともに、生産者の販売
	性	3. 事務	事業の目標(活動指標等)	Α	──ルートを確保するという役割を果たす上で重要な事業である。
	_	4. 計画	の実施状況	В	市場の秩序を維持し、安心で安全な生鮮食料品等を安定的に供給するとともに、適切な価格
	有効	5. 目標	(活動指標等)の達成度	С	形成を行う。また、市場の管理運営にあたっては、市場関係者との連携も取りながら市場活性
評	性	6. 上位:	施策への貢献度	В	── 化を図り、ひいては水産業の振興に大きな役割を果たすものである。
価		7. 事業	成果の向上へのさらなる取組	ን B	
	効	8. コスト	削減へのさらなる取組み	Α	今後の市場運営については、行政コストの低減と民間による管理運営の可能性について検討す
	率	9. 類似	事業との統合・代替の検討	Α	る余地がある。
	性	10. ご	れまでの実施手段	С	
	総	生	鮮食料品等の流通の拠点施設で	あり、今後も市民に	ご安心で安全な水産物を安定的に供給するためには、継続して運営していく必要がある。
	合	В			
	評				
	価				
	今後	の実施方向	性維持	1 22 02 12 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	することで、安心で安全な水産物を安定的に供給するために継続して運営していく必要があるが、民
改	成果	方向性	成果維持	間による市場管理	・運営の可能性について検討が必要である。
~~			¬¬! «#++		

コスト方向性 コスト維持 革

改革効果(どのような効果が期待できるか)

市場の活性化、行政コストの削減。

事	务事	業名	赤潮等漁業	業被害対策事	業費					担当所属	水産課		
基	分	野	6産業·観光						事業期間		~		
本情	基	本施策	1 農林水産業	の振興					会計種別				
報	推	進施策	2 生産基盤の	整備					実施計画		総合	戦略	
	欬	力象	漁業者					·					
事業概要		、 図 	施設の維持管理を	る魚介類の鮮度保 実施する。 実施することにより、3				赤潮被害の	防止と共に漁家 [、] 	や漁協等の漁業	経営基盤に	資する活	:魚槽及び関連
安			海水井戸ポンプや酢	配管設備等の関連が	施設の維持	寺管理や修繕	繕及び水質	管理を実施し	」、安定的な活魚	負槽の利用がでる	きるようにする	•	
				指標名				単位	いつの矢座宝	建1121年前5	見付 D2年1	中性	R3年度見込
fic			セス・レエー カリン ガナ			口捶	店店				_		
指	活動	助指標	採水モニタリング村	英盆凹敛		目標			3	3		3	3
標						実績		0/	3	3			-
			(単位:千円)	かけつ 0 年度	油質	目標達		% \psi \psi \psi \psi \psi \psi \psi \psi	100.0	100.0 令和2年 /	100		- 3 年度 予算
	<u> </u>	タルコス	(= 113)	平成29年度	决异 ,592	平成30	平段 沃昇 2,178	平成3	1,797	市和 2 平/	5 次异 1,773	一个一个	2,180
		ラルコノ 事業費	VI.		,392		1,444		1,797		1,415		1,822
			国庫支出金	1	0		0		0		0		0
			具支出金 具支出金		0		0		0		0		0
ם			也方債		0		0	1	0		0		0
ス		1846	受益者負担		0		0		0		0		0
,		い苦し	その他		0		0		0		0		0
ľ			財源	1	,487		1,444	1	1,071		1,415		1,822
		人件費			,105		734		726		358		358
		正職			,105		734		726		358		358
					0		0		0		0		0
			業費集計済分)		(0)		(0)		(0)		(0)		(0)
	正暗	損	(人)	0.	15		0.10		0.10		0.05		0.05
員	正暗	人員以外	(人)	0.	00		0.00		0.00		0.00		0.00
	開始	時の周	辺環境										
			頃活魚槽が整備され	1、当初は沖合から?	毎水を採れ	Kし運搬して	いた。平成	20年度か	らは、海水井戸	ポンプを整備し、	赤潮に左右	されない	環境に対応して
周	いる。												
辺	現物	の周辺	2環境										
環													
境	• • •												
	今後	色の予想	思される周辺環境										
			評価項	目		評価				評価の理由			
	妥 _		市の関与 (税金3	支出)		Α	市が管理す	る施設であり)、市が関与すべ	きものである。		_	\neg
	当性	2.	事務事業の目的	(対象・意図)		В							
	性	3. 🛚	事務事業の目標	(活動指標等)		Α							
		4.	十画の実施状況			Α	施設の管理	は計画に基	づき、適切に実施	もできた。			
	有]標(活動指標等	等) の達成度		Α							
	効	-	上位施策への貢献	-, -,_,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,									
評	性		- 111元元への負用 事業成果の向上へ		<u></u>	A B							
価					7		四米≯に F:	z咎珊禾託	等について検討す	トスマレブコフト出	はみを生ま	t Z	
	効		コスト削減へのさら				又無日によっ	の日生女司	子について保証。	י שככ נארו או	1/成ツオでは	9) O O	
	率		領似事業との統合			Α							
	性	10.	これまでの実施			С							
	総合評価	В	亦潮対策に重要	な施設であるが、受	益者による	3官埋委託	等について検	টা 9 ক ৯					
	今後	の実施	方向性	維持	管理方法	长(受益者/	への管理委託	(美) につい	て検討する。				
		方向性											
改													
-		卜方向'		スト維持									
案	以丰	2効果	(どのような効果な	か期存でさるか)									

ナリカサ	事業名	水産物供給	給基盤機能保全事	業費				担当所属	水産課	
基 分	} 野	6 産業・観光					事業期間	平成24:	 年度 ~ 令和	 []9年度
本其	本施第		 の振興				会計種別	1750= 1	1/2 131	10 1/2
作 ——	進施第						実施計画		総合戦略	
12		漁業者					7 100-1		10 11 11 11	
文	対象									
			は維持管理と整備を行うため	め、施設の現状を	を診断し、維	持改修費の	軽減と平準化を	目的とした長寿命	かれ計画を策定し、	計画的に機能保
- "	意 図	全(長寿命化):	工事を実施する。							
業		\A\\++\==\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	推持を図ることができる。							
要反	成 果	無冷地設の機能が	世付で区のことが じさる。							
Ę	手 段	漁港施設の長寿命	命化計画を策定し、計画に	基づいた機能保	全(長寿命	化)工事を	実施する。			
+						単位	H30年度実統	計H31年度実	績 R2年度実績	R3年度見込
指 し				目標	値	m	70	60	115	65
	動指標	//// C// C// C// C// C// C// C// C// C/	C/IE/EE/X	実績		m	28	50	85	-
<u>``</u>				目標達		%	40.0	83,3	73.9	-
			平成29年度 決算				1 年度 決算	令和2年度		 3年度 予算
 	-タルコ		107,532		79,463		91,653		13,877	176,547
	事業費		102,374		75,424		86,933		37,795	171,181
	特	国庫支出金	0		0		0		0	0
	定	県支出金	60,631	_	37,490		58,398		99,672	124,000
]	財	地方債	34,000		33,700		24,100	3	32,400	39,600
ス	源	受益者負担	0		0		0		0	0
 		その他	0		0		0		0	0
		般財源	7,743		4,234		4,435		5,723	7,581
	人件		5,158		4,039		4,720		6,082	5,366
		職員	5,158		4,039		4,720	6,082 0		5,366
		職員以外 事業費集計済分)	0 (0)		(0)		(0)		(0)	0 (0
正 耶		(人)	0.70)	0.55		0.65		0.85	0.75
	職員以		0.00		0.00		0.00		0.00	0.00
1 t	пэ+-а		幾能保全工事完了(国目村	惊)に内の、庶	で心設り名	かいしゅうかい いっかん かんしゅう かんしゅう かんしゅう しゅうしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう しゅうしゅう しゅう	戏形(木土司) 四の	水圧及い、計画	に至八城化休土。	上争の天心に有っ
平成 (成29年 合島) 後の予	F度までに全漁港機能 漁港で実施している。 想される周辺環境	能保全計画の策定を完了し は 計画的な機能保全工事の			工事は、平成	戈26年度から え	大津島(馬島)	漁港、平成28年	度から給大島
五 平 所 (料 今	成29年 合島) 後の予	F度までに全漁港機能 漁港で実施している。 想される周辺環境 设(判定A)が多く、	計画的な機能保全工事の)実施が必要でも		工事は、平成			漁港、平成28年	度から給大島
70 平成 (料 今 後 要 対	成29年 合島)派 後の予 対策施記	F度までに全漁港機能 漁港で実施している。 想される周辺環境 设(判定A)が多く、 評価 項	。 計画的な機能保全工事の 頁目)実施が必要でも	ある。		į	評価の理由	漁港、平成28年	度から粭大島
万	成29年 合島) 後の予 対策施記	F度までに全漁港機能 漁港で実施している。 想される周辺環境 役(判定A)が多く、 評価項 市の関与(税金	i 計画的な機能保全工事の 頁目 支出)	D実施が必要であ 評価 A	ある。			評価の理由	漁港、平成28年	度から粭大島
7.1 平成 (料 今 4 要	成29年 合島) 後の予 対策施言	F度までに全漁港機能 漁港で実施している。 想される周辺環境 役(判定A)が多く、 評価で 市の関与(税金) 事務事業の目的	i 計画的な機能保全工事の 頁目 支出) (対象・意図)	D実施が必要であ 評価 A	ある。		į	評価の理由	漁港、平成28年	度から給大島
万	成29年 合島) 後の予 対策施記 1. 2. 3.	F度までに全漁港機能 漁港で実施している。 想される周辺環境 役(判定A)が多く 評価項 市の関与(税金: 事務事業の目的 事務事業の目標	i 計画的な機能保全工事の 頁目 支出) (対象・意図)	評価 A A	ある。 市が管理する	る漁港であり	、市が関与すべる	評価の理由 きものである。		度から粭大島
万	成 2 9 年 合島) 後 の 予 対 策 施 記 1 . 2 . 3 . 4 .	F度までに全漁港機能 漁港で実施している。 想される周辺環境 役(判定A)が多く、 評価項 市の関与(税金: 事務事業の目的 事務事業の目標 計画の実施状況	計画的な機能保全工事の 頁目 支出) (対象・意図) (活動指標等)	P実施が必要であ 評価 A A A	ある。 市が管理する	る漁港であり	、市が関与すべる	評価の理由		度から粭大島
7	成 2 9 名 合島) 後 の 予 対 策 施 記 1 .	F度までに全漁港機能 漁港で実施している。 想される周辺環境 役(判定A)が多く 評価項 市の関与(税金) 事務事業の目的 事務事業の目標 計画の実施状況 目標(活動指標	計画的な機能保全工事の 頁目 支出) (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度	評価 A A	ある。 市が管理する	る漁港であり	、市が関与すべる	評価の理由 きものである。		度から粭大島
型 景	成 2 9 名 合島) ※ 後の予 対策施語 1. 2. 3. 4. 5.	F度までに全漁港機能 漁港で実施している。 想される周辺環境 役(判定A)が多く、 評価項 市の関与(税金: 事務事業の目的 事務事業の目標 計画の実施状況	計画的な機能保全工事の 頁目 支出) (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度	P実施が必要であ 評価 A A A	ある。 市が管理する	る漁港であり	、市が関与すべる	評価の理由 きものである。		度から粭大島
刀 景	成 2 9 名 合島) ※ 後の予 対策施記 1. 2. 3. 4. 5. 6.	F度までに全漁港機能 熱港で実施している。 想される周辺環境 役(判定A)が多く 評価項 市の関与(税金: 事務事業の目的 事務事業の目標 計画の実施状況 目標(活動指標 上位施策への貢献	計画的な機能保全工事の 頁目 支出) (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度	字施が必要である 評価 A A A B	ある。 市が管理する	る漁港であり	、市が関与すべる	評価の理由 きものである。		度から粭大島
刀 景	成29年 合島) 後 の予 対策施記 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.	F度までに全漁港機能 熱港で実施している。 想される周辺環境 役(判定A)が多く 評価項 市の関与(税金: 事務事業の目的 事務事業の目標 計画の実施状況 目標(活動指標 上位施策への貢献	計画的な機能保全工事の 頁目 支出) (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 財度 へのさらなる取組み	評価	ある。 市が管理する	る漁港であり で指標の変	、市が関与すべる	評価の理由 きものである。 面的に機能保全を		度から給大島
刀 景	成29年 合島) 後 の予 対策施記 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.	F度までに全漁港機能 無港で実施している。 想される周辺環境 役(判定A)が多く、 評価項 市の関与 (税金: 事務事業の目標 計画の実施状況 目標 (活動指標 上位施策への貢献 事業成果の向上	計画的な機能保全工事の 頁目 支出) (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 試度 へのさらなる取組み らなる取組み	評価	ある。 市が管理する	る漁港であり で指標の変	、市が関与すべる 動はあるが、計画	評価の理由 きものである。 面的に機能保全を		度から給大島
D 景意 平面	成29年 会島) 後の予 対策施記 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.	F度までに全漁港機能 無港で実施している。 想される周辺環境 役(判定A)が多く、 評価項 市の関与(税金) 事務事業の目的 事務事業の目標 計画の実施状況 目標(活動指標 上位施策への貢献 事業成果の向上の コスト削減へのされ	計画的な機能保全工事の 頁目 支出) (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 試度 へのさらなる取組み らなる取組み らなる取組み 合・代替の検討	評価 A A A A B B A	ある。 市が管理する	る漁港であり で指標の変	、市が関与すべる 動はあるが、計画	評価の理由 きものである。 面的に機能保全を		度から粭大島
刀景竟 平面 平面 一	成 2 9 年 会島) 深 後 の 予 対 策 施 語 1 .	度までに全漁港機能 無港で実施しいる。 想される周辺環境 役(判定A)が多く 評価項 市の関与(税金) 事務事業の目的 事務事業の目標 計画の実施状況 目標(活動指標 上位施策への貢格 事業成果の向上 コスト削減へのされ 類似事業との統合 これまでの実施	計画的な機能保全工事の 頁目 支出) (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 試度 へのさらなる取組み らなる取組み らなる取組み 合・代替の検討	字価 A A A A B A B A B	ある。 市が管理する 繰越工事等 安全性や経	る漁港であり で指標の変 済性を検討	、市が関与すべる動はあるが、計画	評価の理由 きものである。 面的に機能保全を 定選んでいる。		度から給大島
刀景竟 平面 平面 一	成 2 9 名 合島) 液 の 予 対 策 施 記 1 .	F度までに全漁港機能 無港で実施している。 想される周辺環境 役(判定A)が多く、 評価項 市の関与(税金) 事務事業の目的 事務事業の目標 計画の実施状況 目標(活動指標 上位施成果の向上の コスト削減へのさい 類似事業との統領 これまでの実施 漁港施設の機能	計画的な機能保全工事の 頁目 支出) (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 財度 へのさらなる取組み らなる取組み 合・代替の検討 ほ手段 E維持を図るために必要な事	字価 A A A B A B A A A B	ある。 市が管理する 繰越工事等 安全性や経 可に基づき機能	る漁港であり で指標の変 済性を検討 能保全工事	、市が関与すべる動はあるが、計画	評価の理由 きものである。 面的に機能保全を 定選んでいる。		度から給大島
型環境 平面	成 2 9 年 後 の 予 対 策 施 語 1 .	下度までに全漁港機能力で実施している。 想される周辺環境 役(判定A)が多く 評価では、 市の関与(税)が多く 評価では、 事務事業の目標 計画では、 計画では、 計画では、 は、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	計画的な機能保全工事の 頁目 支出) (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 就度 へのさらなる取組み らなる取組み ら、代替の検討 ほ手段 と維持を図るために必要な事	字価 A A A A B A B A B	ある。 市が管理する 繰越工事等 安全性や経 可に基づき機能	る漁港であり で指標の変 済性を検討 能保全工事	、市が関与すべる動はあるが、計画	評価の理由 きものである。 面的に機能保全を 定選んでいる。		度から給大島
刀罩竟 平面 平面 女儿 一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个	成立 2 9 4 分	下度までに全漁港機能力で実施して、 想される周辺環境 役(判定A)が多く 評価の関与、の目標 計画の実施の向目標 計画のに活動指電 上位施策への向上・コスト削減へのおける。 類似事業との統合 これまでの実施 漁港施設の機能	計画的な機能保全工事の 頁目 支出) (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 財度 へのさらなる取組み らなる取組み 合・代替の検討 手段 と維持を図るために必要な事	字価 A A A B A B A A A B	ある。 市が管理する 繰越工事等 安全性や経 可に基づき機能	る漁港であり で指標の変 済性を検討 能保全工事	、市が関与すべる動はあるが、計画	評価の理由 きものである。 面的に機能保全を 定選んでいる。		度から給大島
刀罩竟 平面 平面 改革 一	成立 2 9 4 2 3 4 2 5 6 7	下度までに全漁港機能力で実施して、 想される周辺環境 役(判定A)が多く 評価の関与、の目標 計画の実施の向目標 計画のに活動指電 上位施策への向上・コスト削減へのおける。 類似事業との統合 これまでの実施 漁港施設の機能	計画的な機能保全工事の 頁目 支出) (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 就度 へのさらなる取組み らなる取組み らなる取組み 会・代替の検討 に手段 と維持を図るために必要な事	字価 A A A B A B A A A B	ある。 市が管理する 繰越工事等 安全性や経 可に基づき機能	る漁港であり で指標の変 済性を検討 能保全工事	、市が関与すべる動はあるが、計画	評価の理由 きものである。 面的に機能保全を 定選んでいる。		度から給大島

رول	和.	<u>3</u> 1	牛!	夏 事務事	茉評価表	(令和	2年	芟夷	領)				
事	务事	業	名	漁港管理事	事業費							担当所属	水産課		
基	分		野	6 産業・観光							事業期間		~	-	:左
本			_		☆ 振師								~	<u> </u>	· 作
情	基本			1 農林水産業							会計種別		444.4	Wh ma	
報	推			2 生産基盤の	整備						実施計画		総合	戦略	
	文	† ≸	象	漁業者		*/\ / 2\++ /-		v#1+ ***	⊞ ∓7 7 %	+/ - =0.***	RoTU存地 o.수.	1 + 507 7			
事業	意	Ē			管理運営計画に基づ				里及ひ、	、他该外外	刊の利使性の同.	上で凶る。			
概要	劶	t 5	果		持と適正利用を図り										
	₹	€ #	鈠	無港施設の維持管	理、漁港施設の使	用寺に徐	合計認可事	·			1	-1		績 R2年度実績 R3年原	
					指標名					単位	H30年度実		€績 R2年	度実績	R3年度見込
指	活動	ih±≤	≨捶	維持管理工事·	修繕件数		目標	値		件	30	30	3	30	30
標	/03	:U 1 E	יעו ב				実績	値		件	37	27		18	-
							目標達	成度		%	123.3	90.0			-
				(単位:千円)	平成29年度	決算	平成30:				1年度 決算	令和2年			3年度予算
	 	タル	レコス			,467	1 220	24,1		1 7-70	26,697	1011111	32,749	1- 14	20,184
			費			,467		14,2			17,258		23,447		13,029
		Г	l Is	国庫支出金		0		· ·	0		0		0		0
			神一	士山ム		0		5	11		518		520		551
J		7	定力	也方債		0			0		0		0		0
ス		ļ	財	经益者負担	1	,319		1,2	16		1,756		2,497		1,630
		;) E		Ι,			1,2							
۲			7	の他		•	0 0			1 1 2 2 2	20 429			1	
	_			財源		,148		12,5			14,983				
	-		費			,000		9,9			9,439		9,302		7,155
			正職		/	,000		9,9			9,439		9,302		7,155
		Ŀ		員以外		0			0		0		0		0
	. T H2			業費集計済分)		(0)			0)		(0)		(0)		(0)
	正單		以外	(人)		95		1.3			1.30		1.30		1.00
員					0.	00		0.00	<u> </u>		0.00		0.00		0.00
				辺環境											
	既設	()EX	を他 記	役の維持管理を行う	0.										
周	704	١ 🚓	E 17	TEL L											
7/J				<u>現境</u>						* . ". = =		_			
環	施設	でのそ	经村人	どにより、要補修箇月	听が増え維持修繕費	関用が増加	叩している。 ま	た、必要	とな修繕	善か行えて	いない状況であ	ప .			
境															
	今後	色の	予想	される周辺環境											
	今後	も旅	色設の	き朽化は確実に進	展するため、計画的	な維持管	言理によりライ	(フサイク,	ルコスト	の削減を	図る必要がある。				
				評価項	目		評価					評価の理由			
	妥 _	1	. ন	5の関与(税金3	5出)		Α	市が管理	里する流	魚港施設	であり、市が関与	すべきものであ	ა		
	当品			務事業の目的	(対象・意図)		Α								
	性的			野事業の目標	(活動指煙竿)		Α								
		4			(/山玉川山水石/			田志士	·A:# «#	++土251円19	5分計画に甘べ3	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	T+\&#+±#</th><th>ヨカガスキャ</th><th>_</th></tr><tr><th></th><th>有</th><th>-</th><th></th><th>†画の実施状況</th><th></th><th></th><th>Α</th><th>川田川</th><th>炽/心和</th><th>讨日垤总</th><th>運営計画に基づき</th><th>点心心或の心</th><th> 正は雅は日</th><th>注かできん</th><th>Co</th></tr><tr><th></th><th>効</th><th>5</th><th>. E</th><th>目標(活動指標等</th><th>手)の達成度</th><th></th><th>Α</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><th>評</th><th>性</th><th>6</th><th>. J</th><th>上位施策への貢献</th><th>忧度</th><th></th><th>Α</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><th>価</th><th>II</th><th>7</th><th>'.</th><th>業成果の向上^</th><th>へのさらなる取組み</th><th>ļ</th><th>Α</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><th>1144</th><th>効</th><th>Q</th><th></th><th>スト削減へのさら</th><th>かる町組み</th><th>*</th><th>Α</th><th>現在の領</th><th>き 理水</th><th>淮であれ(</th><th>ば、現状の直営(</th><th>木制が最適と老</th><th>えられる。</th><th></th><th></th></tr><tr><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>) (III -) (</th><th></th><th></th><th>5.C 707C-5</th><th>1 11373 4222 3</th><th>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</th><th></th><th></th></tr><tr><th></th><th>率</th><th>-</th><th></th><th>順似事業との統合</th><th></th><th></th><th>A</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><th></th><th>性</th><th>1</th><th>U.</th><th>これまでの実施</th><th></th><th></th><th>Α</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><th></th><th>総合評価</th><th></th><th>Α</th><th>漁港管理者として</th><th>こ、引き続き漁港の近</th><th>適切な維剤</th><th>特官埋を行う</th><th>O.</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><th></th><th></th><th>ው</th><th>丰体-</th><th></th><th>維持</th><th>油港等理</th><th> 老と .て </th><th>けき続き</th><th>角法施</th><th>設の海州</th><th>な管理運営を行</th><th>っていく 効弦</th><th>ない事業生</th><th>施に奴み</th><th>る.</th></tr><tr><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>1125</th><th>灬/21日日</th><th>EHCU (,)</th><th>пстісл</th><th>ボ/270</th><th>ᄧᄼᄭᄜᅝᆡ</th><th>ゅら妊廷舌で们</th><th>ノしいへ。 ※刃谷</th><th>-¤コッぱ丁未天</th><th>いいしょうりん</th><th>. o</th></tr><tr><th>改</th><th>成身</th><th>疗</th><th>向性</th><th>点 成</th><th>文果維持</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><th>革</th><th>コス</th><th>卜方</th><th>向付</th><th>生 コ.</th><th>スト維持</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><th>-</th><th>改革</th><th>効</th><th>果</th><th>(どのような効果か</th><th>が期待できるか)</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><th>未</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr></tbody></table>		

事		- 4117 4											
	务事	業名	3 沿岸漁場野	整備開発事業費	費					担当所属	水産課		
基	分	野	6 産業・観光						事業期間		~	· 令和]7年度
本		本施5		の振興					会計種別				
情	_	進施舒							実施計画		総合	半米	
报)E)	医川ビタ		正佣					大旭 川 凹		小心 口	7 ₹,™D	
	文	寸 象		昜整備を行うことで、 ノ	k産資源の)増殖を図る。							
	意	図											
是	Б	戈 果		曽進を図ることができる	5 .								
	手	F 段		具実施事業の一部負	!担)								
				指標名			単	位	H30年度実統	責H31年度第	€績 R2年	度実績	R3年度見
1			漁場整備実施健	5所数		目標値	篖	所	1	1		1	1
	活	動指標		=//13/		実績値		·//· 所	1	1		1	
•													_
			()\((/// = \int \operatorname{\text{T}}\)		I =	目標達成度		%	100.0	100.0		0.0	-
ı			(単位:千円)	平成29年度		平成30年度		平成3	1年度決算	令和2年		令和	3年度 予算
		タルニ			,357	1	1,505		3,521		3,832		8,45
	1	事業			620		771		2,795		3,116		7,73
ı		特	国庫支出金		0		0		0		0		
ı			県文出金		0		0		0		0		
		定	地方債		500		600		2,500		2,800		6,90
		財	受益者負担		0		0		0		0		
		源			-								
			その他		0		0		0		0		
ı		_	般財源		120		171		295		316		83
	Γ.	人件	貴合計		737		734		726		716		71
			職員		737		734		726		716		71
ı			職員以外		0		0		0		0		
ı			事業費集計済分)		-						•		
			ナ木只木口/月刀/		(())		(n)		(0.)		(۱)		/ (
ı	I F IE	部員		0	(0)		(0)		(0)		(0)		
	正服		(人)	0.1	10		.10		0.10		0.10		0.10
į	正單	戦員以 台時の	(人)	0.0	10 00	0	.10	で共同負	0.10		. ,		0.10 0.00
	正期 別 山口 現 水 でいる 今後	戦員以 台時の 1県が 犬の居 え28年 る。	(人) 外 (人) 周辺環境	0.(開(漁場整備)事業 水域環境保全創造事	10 00 00 単純に係る一計	の 部負担金である 了した。引き続き	.10		0.10 0.00	環境整備事業の	0.10	小夕魚礁の	0.10
	正期 別 山口 現れ 平 ている 今後	戦員以 台時の 1県が 犬の居 え28年 る。	(人) 内 (大)	0.(講(漁場整備)事業 水域環境保全創造事 令和7年度までの計	10 00 00 単純に係る一計	の部負担金である	.10		0.10 0.00 負担) 内海地区水産		0.10	人夕魚礁の	0.10 0.00
	正期 別 山口 現れ 平 ている 今後	戦員以 台時の は 2 8 年 る。 後 の 予 野地区	(人) 内 (人)	0.(前(漁場整備)事業 水域環境保全創造 令和7年度までの計	10 00 00 単純に係る一計	0 部負担金である 了した。引き続き	.10 .00	手度から、	0.10 0.00 負担) 内海地区水産	評価の理由	0.10 0.00		0.10 0.00 0.00 整備等を実施
	正開始 山 現れ び 今 内 要	戦員以 台時の 1県が 大の居 対281 る。 後の予 地区:	(人) (外 (人) (内) (内) (内) (内) (内) (内) (内) (内) (内) (内	0.(前(漁場整備)事業 水域環境保全創造事 令和7年度までの計 毎日 支出)	10 00 00 単純に係る一計	0 部負担金である 了した。引き続き 評価 山口	.10 .00	手度から、	0.10 0.00 負担) 内海地区水産	評価の理由	0.10 0.00		0.10 0.00
	正開始 山 現れ び 今 内 要	戦員以 台時の は28年 は28年 な3。 後の予 野地区	(人) 内 (人)	0.(前(漁場整備)事業 水域環境保全創造事 令和7年度までの計 毎日 支出)	10 00 00 単純に係る一計	0 部負担金である 了した。引き続き	.10 .00	手度から、	0.10 0.00 負担) 内海地区水産	評価の理由	0.10 0.00		0.10 0.00
	正開山 現れ で 今 内	戦員以 台時の は28年 な28年 な3。 後の予 野地区 21.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.1	(人) (外 (人) (内) (内) (内) (内) (内) (内) (内) (内) (内) (内	0.(10 00 00 単純に係る一計	0 部負担金である 了した。引き続き 評価 山口	.10 .00	手度から、	0.10 0.00 負担) 内海地区水産	評価の理由	0.10 0.00		0.10 0.00
	正開始 山 現れ び 今 内 要	台時の が が が が が が が が が が 	(人) 外 (人) 内 (人)	0.(10 00 00 単純に係る一計	0 部負担金である 了した。引き続き 評価 A 山口 A	.10 .00 。(下松市 平成 2 9 名	宇度から、 する水産 ^野	0.10 0.00 0.00 內海地区水産 環境整備事業に	評価の理由	0.10 0.00		0.10 0.00
	正開 山 現 平 て 今 内 妥当性	出版 お時 が が が が が が が が	(人) 外 (人) 内 (人)	0.(前(漁場整備)事業 水域環境保全創造 令和7年度までの計 5目 支出) (対象・意図) (活動指標等)	10 00 00 単純に係る一計	の 部負担金である 了した。引き続き 評価 A 山口 A A	.10 .00 。(下松市 平成 2 9 名	宇度から、 する水産 ^野	0.10 0.00 負担) 内海地区水産	評価の理由	0.10 0.00		0.10 0.00
	正開山 現平で今内 妥当性 有	出版 お時の 大の店 大の店 大の店 大の店 大の店 大の店 大の店 大の店 大の店 大の店 大の店 大の店 大の店 大の店 大の店 大の店 大の店 大の店 大の店 大の店 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大 大 大 大 大 大 大 大	(人) 外 (人) 内 (人)	0.(前(漁場整備)事業 水域環境保全創造 令和7年度までの計 5目 支出) (対象・意図) (活動指標等)	10 00 00 単純に係る一計	0 部負担金である 了した。引き続き 評価 A 山口 A	.10 .00 。(下松市 平成 2 9 名	宇度から、 する水産 ^野	0.10 0.00 0.00 內海地区水産 環境整備事業に	評価の理由	0.10 0.00		0.10 0.00
	正開山 現平で今内 妥当性 有効	総理 (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	(人) 外 (人) 内 (人)	の.(補(漁場整備)事業 水域環境保全創造 令和7年度までの計 (対象・意図) (対象・意図) (活動指標等)	10 00 00 単純に係る一計	の 部負担金である 了した。引き続き 評価 A 山口 A A	.10 .00 。(下松市 平成 2 9 名	宇度から、 する水産 ^野	0.10 0.00 0.00 內海地区水産 環境整備事業に	評価の理由	0.10 0.00		0.10 0.00
	正開山 現平で今内 妥当性 有	 出場の はなる はなる	(人) 内 (人)	の、(補(漁場整備)事業 水域環境保全創造事 令和7年度までの計 (対象・意図) (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 決度	10 00 00 美に係る一計 事業が完了	の 部負担金である 了した。引き続き 評価 A 山口 A A 計画 A B	.10 .00 。(下松市 平成 2 9 名	宇度から、 する水産 ^野	0.10 0.00 0.00 內海地区水産 環境整備事業に	評価の理由	0.10 0.00		0.10 0.00
	正開山 現平で今内 妥当性 有効性 :	制 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	(人) 内 (力	の.(開(漁場整備)事業 水域環境保全創造駅 令和7年度までの計 (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 状度 、のさらなる取組み	10 00 00 美に係る一計 事業が完了	部負担金である アレた。引き続き 評価	.10 .00 .00 .0 (下松市 平成 2 9 年	手度から、	0.10 0.00 負担) 内海地区水産 環境整備事業に ることができた。	評価の理由 係る負担金で、	0.10 0.00 0.00 市の関与は		0.10 0.00 0.00 整備等を実施
	正開山 現平で今内 妥当性 有効	 おけん おけん おけん おります おりまます おります おります おります おります おります おります おりまする おります <l< th=""><th>(人) (外) (人) (内) (内)</th><td>の.(前(漁場整備)事業 水域環境保全創造事 令和7年度までの計 (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 状度 いのさらなる取組み なる取組み</td><td>10 00 00 美に係る一計 事業が完了</td><td>の 部負担金である アレた。引き続き 評価 A 山口 A A 計画 A B A</td><td>.10 .00 .00 .0 (下松市 平成 2 9 年</td><td>手度から、</td><td>0.10 0.00 0.00 內海地区水産 環境整備事業に</td><td>評価の理由 係る負担金で、</td><td>0.10 0.00 0.00 市の関与は</td><td></td><td>0.10 0.00</td></l<>	(人) (外) (人) (内)	の.(前(漁場整備)事業 水域環境保全創造事 令和7年度までの計 (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 状度 いのさらなる取組み なる取組み	10 00 00 美に係る一計 事業が完了	の 部負担金である アレた。引き続き 評価 A 山口 A A 計画 A B A	.10 .00 .00 .0 (下松市 平成 2 9 年	手度から、	0.10 0.00 0.00 內海地区水産 環境整備事業に	評価の理由 係る負担金で、	0.10 0.00 0.00 市の関与は		0.10 0.00
	正開山 現平で今内 妥当性 有効性 :	 おけん おけん おけん おります おりまます おります おります おります おります おります おります おりまする おります <l< th=""><th>(人) 内 (人) 内 (力 (力</th><td>の.(前(漁場整備)事業 水域環境保全創造事 令和7年度までの計 (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 状度 いのさらなる取組み なる取組み</td><td>10 00 00 美に係る一計 事業が完了</td><td>部負担金である アレた。引き続き 評価</td><td>.10 .00 .00 .0 (下松市 平成 2 9 年</td><td>手度から、</td><td>0.10 0.00 負担) 内海地区水産 環境整備事業に ることができた。</td><td>評価の理由 係る負担金で、</td><td>0.10 0.00 0.00 市の関与は</td><td></td><td>0.10 0.00</td></l<>	(人) 内 (力	の.(前(漁場整備)事業 水域環境保全創造事 令和7年度までの計 (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 状度 いのさらなる取組み なる取組み	10 00 00 美に係る一計 事業が完了	部負担金である アレた。引き続き 評価	.10 .00 .00 .0 (下松市 平成 2 9 年	手度から、	0.10 0.00 負担) 内海地区水産 環境整備事業に ることができた。	評価の理由 係る負担金で、	0.10 0.00 0.00 市の関与は		0.10 0.00
	正開山 現平で今内 妥当性 有効性 効率:	 出場の はなる はなる	(人) 内 (力)	の、(補(漁場整備)事業 水域環境保全創造事 令和7年度までの計 (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 状度 のさらなる取組み なる取組み なく代替の検討	10 00 00 美に係る一計 事業が完了	の 部負担金である アした。引き続き 評価 A 山口 A A 計画 A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	.10 .00 .00 .0 (下松市 平成 2 9 年	手度から、	0.10 0.00 負担) 内海地区水産 環境整備事業に ることができた。	評価の理由 係る負担金で、	0.10 0.00 0.00 市の関与は		0.10 0.00 0.00 整備等を実施
	正開山 現平で今内 妥当性 有効性 効	 出場の はなる はなる	(人) (外) (人) (内)	の、(補(漁場整備)事業 水域環境保全創造事 令和7年度までの計 (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 状度 のさらなる取組み なる取組み なく代替の検討	10 00 00 まに係る一計 事業が完了	である 部負担金である アした。引き続き 不 A A 計画 A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	.10 .00 .00 .0 (下松市 平成 2 9 年	手度から、 する水産5	0.10 0.00 負担) 内海地区水産 環境整備事業に ることができた。	評価の理由 係る負担金で、	0.10 0.00 0.00 市の関与は		0.10 0.00
	正開山 現平で今内 妥当性 有効性 効率性総合評価	 おけん おけん おります <li< th=""><th>(人) (外) (人) (内) (内)</th><td>の.(前(漁場整備)事業 水域環境保全創造事 令和7年度までの計 (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 状度 いのさらなる取組み なる取組み なく代替の検討 手段 あり、市の負担はやす</td><td>10 00 00 事業が完了 事業が完了</td><td>である 部負担金である アした。引き続き 不 A A 計画 A A A A A A A A A A A A A A A A A A A</td><td>.10 .00 .00 .0 (下松市 平成 2 9 年 </td><td>まで また また</td><td>0.10 0.00 連担) 内海地区水産 環境整備事業に ることができた。</td><td>評価の理由 係る負担金で、</td><td>0.10 0.00 0.00 市の関与は</td><td></td><td>0.10 0.00</td></li<>	(人) (外) (人) (内)	の.(前(漁場整備)事業 水域環境保全創造事 令和7年度までの計 (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 状度 いのさらなる取組み なる取組み なく代替の検討 手段 あり、市の負担はやす	10 00 00 事業が完了 事業が完了	である 部負担金である アした。引き続き 不 A A 計画 A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	.10 .00 .00 .0 (下松市 平成 2 9 年 	まで また	0.10 0.00 連担) 内海地区水産 環境整備事業に ることができた。	評価の理由 係る負担金で、	0.10 0.00 0.00 市の関与は		0.10 0.00
	正開山 現平で今内 妥当性 有効性 効率性総合評価 今	 最初 日本 <li< th=""><th>(人) 外 (人) 周辺環境 E施する水産環境整備 「辺環境 主度で内海中部地区 を根される周辺環境 水産環境整備事業は 神田の関与(税金3) 事務事業の目標 計画の目標 計画のに活動指標。 上位施策への両上のコスト削減へのさら 類似事業との統合 、これまでの実施 「ルカラー性</th><td>の.(前(漁場整備)事業 水域環境保全創造事 水域環境保全創造事 令和7年度までの計 (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 状度 のさらなる取組み おなる取組み おくべ替の検討 手段 あり、市の負担はやを 維持</td><td>10 00 00 事業が完了 事業が完了</td><td>の 部負担金である アレた。引き続き 評価 A 山口 A A 計画 A A 魚礁 A A</td><td>.10 .00 .00 .0 (下松市 平成 2 9 年 </td><td>まで また また</td><td>0.10 0.00 連担) 内海地区水産 環境整備事業に ることができた。</td><td>評価の理由 係る負担金で、</td><td>0.10 0.00 0.00 市の関与は</td><td></td><td>0.10 0.00 0.00 整備等を実施</td></li<>	(人) 外 (人) 周辺環境 E施する水産環境整備 「辺環境 主度で内海中部地区 を根される周辺環境 水産環境整備事業は 神田の関与(税金3) 事務事業の目標 計画の目標 計画のに活動指標。 上位施策への両上のコスト削減へのさら 類似事業との統合 、これまでの実施 「ルカラー性	の.(前(漁場整備)事業 水域環境保全創造事 水域環境保全創造事 令和7年度までの計 (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 状度 のさらなる取組み おなる取組み おくべ替の検討 手段 あり、市の負担はやを 維持	10 00 00 事業が完了 事業が完了	の 部負担金である アレた。引き続き 評価 A 山口 A A 計画 A A 魚礁 A A	.10 .00 .00 .0 (下松市 平成 2 9 年 	まで また	0.10 0.00 連担) 内海地区水産 環境整備事業に ることができた。	評価の理由 係る負担金で、	0.10 0.00 0.00 市の関与は		0.10 0.00 0.00 整備等を実施
10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	正開山 現平で今内 妥当性 有効性 効率性総合評価後期間 地成い名海	 出場の はなる はなる なる はなる はなる なる もの はなる もの もの	(人) 内 (人)	の.(前(漁場整備)事業 水域環境保全創造調 令和7年度までの計 (対象・意図) (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 状度 のさらなる取組み なる取組み なる取組み ないできるないでは なる取組み ないできなる取組み ないできるないでは ないできるないでは ないできるないでする。 ははいでする。 はないでななななななななななななななななななななな	10 00 00 事業が完了 事業が完了	の 部負担金である アレた。引き続き 評価 A 山口 A A 計画 A A 魚礁 A A	.10 .00 .00 .0 (下松市 平成 2 9 年 	まで また	0.10 0.00 連担) 内海地区水産 環境整備事業に ることができた。	評価の理由 係る負担金で、	0.10 0.00 0.00 市の関与は		0.10 0.00
10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	正開山 現平で今内 妥当性 有効性 効率性総合評価後期間 地成い名海	 最初 日本 <li< th=""><th>(人) 内 (人) 内 (人)</th><td>の.(前(漁場整備)事業 水域環境保全創造事 水域環境保全創造事 令和7年度までの計 (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 状度 のさらなる取組み おなる取組み おくべ替の検討 手段 あり、市の負担はやを 維持</td><td>10 00 00 事業が完了 事業が完了</td><td>の 部負担金である アレた。引き続き 評価 A 山口 A A 計画 A A 魚礁 A A</td><td>.10 .00 .00 .0 (下松市 平成 2 9 年 </td><td>まで また また</td><td>0.10 0.00 連担) 内海地区水産 環境整備事業に ることができた。</td><td>評価の理由 係る負担金で、</td><td>0.10 0.00 0.00 市の関与は</td><td></td><td>0.10 0.00</td></li<>	(人) 内 (人)	の.(前(漁場整備)事業 水域環境保全創造事 水域環境保全創造事 令和7年度までの計 (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 状度 のさらなる取組み おなる取組み おくべ替の検討 手段 あり、市の負担はやを 維持	10 00 00 事業が完了 事業が完了	の 部負担金である アレた。引き続き 評価 A 山口 A A 計画 A A 魚礁 A A	.10 .00 .00 .0 (下松市 平成 2 9 年 	まで また	0.10 0.00 連担) 内海地区水産 環境整備事業に ることができた。	評価の理由 係る負担金で、	0.10 0.00 0.00 市の関与は		0.10 0.00
	正開山 現平で今内 妥当性 有効性 効率性総合評価後期 スポーツ おおい おおい おおい おおい おおい おおい おおい おおい おおい おお	 試験のでは、28 はなる。 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9.1 (7. 14. 14. 14. 14. 14. 14. 14. 14. 14. 14	(人) 内 (人)	の.(10 00 00 事業が完了 事業が完了	の 部負担金である アレた。引き続き 評価 A 山口 A A 計画 A A 魚礁 A A	.10 .00 .00 .0 (下松市 平成 2 9 年 	まで また	0.10 0.00 連担) 内海地区水産 環境整備事業に ることができた。	評価の理由 係る負担金で、	0.10 0.00 0.00 市の関与は		0.10 0.00 0.00 整備等を実施

TJ.	<u> 111</u>	3 平/	文 争伤争	美評価表 (ᄁᄮ	2 年度	天祖)			
事	务事	業名	漁港施設災	災害復旧事業費(補	助)				担当所属	水産課	
基	分	野	6 産業·観光					事業期間	令和2	 年度 ~ 令8	和3年度
本		本施策	1 農林水産業	の振闘				会計種別	וויון	十/文 - 17/	115千/支
情		生施策	2 生産基盤の					実施計画		総合戦略	
報		寸 象	漁業者	至"湘				关心 间		松口料岬	
事業	意	区区		の復旧により、漁業就労の安	定安全の確	保と、漁港の	の適切な維持	管理を図る。			
概要	反	龙果	漁港施設の機能復								
	3	€ 段	(位) (人) (人) (人) (人) (人) (人) (人) (人) (人) (人	の災害復旧工事の実施。			#	いつの左座字を	当 山24左帝号	2種 カン左座中領	R3年度見込
#155			H- III IV	指標名		. /-k	単位	H3U平及夫律	月H31平没多	€績 R2年度実績	₹ K3平段兄込
指標	活動	動指標	指標なし		目標 実績				+		_
1.50					目標達		%	-	-	-	-
			(単位:千円)	平成29年度 決算		年度 決算	平成3	1 年度 決算	令和2年	度 決算 令和	13年度 予算
	 -	タルコス		0		0		0		2,355	8,500
	3	事業費		0		0		0		1,282	7,427
			国庫支出金	0		0		0		1,025	5,942
		الحال	長支出金	0		0		0		0	0
_		Bəələt	也方債	0		0		0		200	1,400
ス) Jan 2	受益者負担	0		0		0		0	0
۲		1	その他	0		0		0		0	0
	L		財源	0		0		0		57	85
		人件費1		0		0		0		1,073	1,073
		正職	模 遺以外	0		0		0		1,073	1,073 0
			(異以7F (業費集計済分)	(0)		(0		(0)		(0)	(0)
人	正罪		(人)	0.00		0.00	4	0.00		0.15	0.15
		戦員以外		0.00		0.00		0.00		0.00	0.00
周辺環境	現北 令和	2年9月 犬の周辺 2年11月 後の予想]環境	大津島(馬島)漁港57浮桟 剣し、令和2年12月に事業費の る必要がある。							
			評価項	5B	評価			•	評価の理由		
		1 =	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		ат тш А	市が管理す	る漁港施設の	の災害復旧であり		べきものである	
	妥目	ı			A	1-7	J.,	- / -			
	当的性	,	事務事業の目標		_						
		J. 7		(加到旧标节)	Α .	会和2年度	-1-48. -1-48. -1-48.	両路のに東 業を	ニっていて		
	有	_	†画の実施状況	** • • • • • • • • • • • • • • • • • •	Α	7年13年1支	に採述し、計	画通りに事業を	17(0%)		
	効		目標(活動指標等		В						
評	性	6. J	上位施策への貢献	大度	В						
価	-	7. 耳	₿業成果の向上^	へのさらなる取組み	Α						
	効	8. 🗆	スト削減へのさら	おる取組み	Α	安全性や経	経済性を検討し	し、最適な手段で	で実施している。		
	率	9. *	頭似事業との統合	・代替の検討	Α						
	性	10.	これまでの実施		Α						
	総合評価	Α		速やかに復旧工事を実施し、	魚港施設の	機能回復を	行うことで漁	業就労の安定安	全を確保する。		
		の実施		維持							
改	成身	見方向性	E 月	以果維持							
	コス	卜方向	生	スト維持							
-	改革	並 効果	(どのような効果だ	が期待できるか)							

令	和	3年	度 事務事	業評価表 (令和 2	年度第	€績)			
事	务事	業名	長田フィッシ	ヤリーナ管理事業費					担当所属	水産課	
基	分	野	6産業・観光					事業期間	平成1	9年度 ~	
本	基	本施策	1 農林水産業	の振興				会計種別			
情報	推	進施策	2 生産基盤の					実施計画		総合戦略	
			浮桟橋利用者							1011110	
	文	対 象	漁港内の漁船とプ	ンジャーボートとの調整及び棲	み分けを図り、利	川用者に対	して利便性	5の高い海洋レジ	ヤーに関する施	設サービスを提供する) 0
事業	意	意図									
概要	Б	成 果	漁港内の漁船とプロ	ノジャーボートの区域を調整し	、海洋レジャーに	関する快	適な施設サ	ービスを提供する	ことで、施設の	利用拡大が図られる	
	7	手 段	プレジャーボートの近	適正な管理を促し、海洋レジャ	ァーを通じて憩い(の場を提供	共する。 プレ	ノジヤーボート専月	用の係留施設の	D管理運営を行う。	
				指標名			単位	H30年度実績	計H31年度第	実績 R2年度実績	R3年度見込
指	 .	er in im	利用隻数		目標値		隻	72	72	72	72
標	活!	動指標			実績値		隻	16	13	15	-
					目標達成	度	%	22.2	18.1	20.8	-
			(単位:千円)	平成29年度 決算	平成30年月			1 年度 決算	令和2年		3年度予算
	 	-タルコス		6,198		4,685	1 7-70	4,787	1714 - 11	3,839	4,715
		事業費	••	2,882		1,747		1,883		1,692	2,211
		4+ [国庫支出金	, 0		0		0		0	, 0
		1 75	県支出金	0		0		0		0	0
J		[正]	地方債	0		0		0		0	0
ス		財	受益者負担	0		0		1,744		0	2,072
٠.		265	その他	0		0		139		0	139
•			以 以 以 以 以 以 以 以 以 以 以 以 以 以 以 り り り り り	2,882		1,747		0		1,692	0
	ŀ	人件費·		3,316		2,938		2,904		2,147	2,504
		正職		3,316		2,938		2,904		2,147	2,504
			 战員以外	0		0		0		0	0
			·····································	(0)		(0)		(0)		(0)	(0)
人	正期	哉員	(人)	0.45		0.40		0.40		0.30	0.35
員	正耶	哉員以夕	小 (人)	0.00		0.00		0.00		0.00	0.00
	_					0.00					
	開如	台時の周	司 辺環境			0.00					
			引辺環境 の漁船とプレジャーボ	ートの調整及び棲み分けによ	り整備した施設。		9年度から	う供用開始されて	- เงล.		
				ートの調整及び棲み分けによ	り整備した施設。		. 9年度か	ら供用開始されて			
周	福川	漁港内	の漁船とプレジャーボ	ートの調整及び棲み分けによ	り整備した施設		. 9年度か	ら供用開始されて	いる。		
周辺	福川 現北	漁港内	の漁船とプレジャーボ 2環境				9年度から	6供用開始されて	ัเงอ _ั		
	福川 現北	漁港内	の漁船とプレジャーボ 2環境	ートの調整及び棲み分けによ			. 9年度から	ら供用開始されて			
辺	福川 現れ プレ:	漁港内の 用辺 ジャーボー	の漁船とプレジャーボ 2環境				. 9年度か	ら供用開始されて	ている。		
辺 環	福川 現れ プレ:	漁港内の 犬の周辺 ジャーボー 後の予想	の漁船とプレジャーボ 2環境 - ト数が全国的に減 関 される周辺環境		呆が難しい。	で、平成 1]促進を図る。	
辺 環	福川 現れ プレ:	漁港内の 犬の周辺 ジャーボー 後の予想	の漁船とプレジャーボ 2環境 - ト数が全国的に減 関 される周辺環境	少しており、新規利用者の確何ない。	呆が難しい。	で、平成 1		ナへの係留を促っ		日促進を図る。	

		評価項目	評価	評価の理由
	妥 _	1. 市の関与(税金支出)	В	漁港内の漁船とプレジャーボートとの調整及び棲み分けを図るために、市が管理している施設で
	当点	2. 事務事業の目的(対象・意図)	Α	あり、市が関与すべきである。
	性	3. 事務事業の目標(活動指標等)	В	
	_	4. 計画の実施状況	В	管理運営について計画通りに、概ね実施できた。
	有効	5. 目標(活動指標等)の達成度	С	
評	性	6. 上位施策への貢献度	С	
価	1	7. 事業成果の向上へのさらなる取組み	В	
	効	8. コスト削減へのさらなる取組み	Α	新たな利用者を積極的に募集し、隻数が増加することで、大幅な収入増加が見込める。
	率	9. 類似事業との統合・代替の検討	В	
	性	10. これまでの実施手段	В	
	総	漁港内の漁船とプレジャーボートの棲み分け等和	利用調整の	ため必要な事業である。今後とも引き続き利用促進を図る。
	合	В		
	評	D		
	橅			

今後の実施方向性 維持 成果方向性 成果維持 コスト方向性 コスト維持 革

国土交通省は令和4年までに放置艇解消を目標としており、係留先のない艇について、フィッシャリーナへの係留を促 すことにより利用促進を図る。フィッシャリーナ浮桟橋については、構造的に使用箇所を減らすことでの経費削減は困難 と考えられるため、係留艇確保に努める。

		- 1112 4-		\ = \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \							
事	务事	業名	長田海浜公	公園管理事業費					担当所属	水産課	
基	分	野	6産業・観光					事業期間	平成2	 年度 ~	
本	基	本施策	1 農林水産業	の振興				会計種別			
情報		進施策	2 生産基盤の					実施計画		総合戦略	
			公園利用者							121111	
事		寸象		≧を確保し利便性を向上させ、	施設利用の	の拡大を図る。					
業概要	Б	以果		ルて安全に利用できる施設理 設の適正な維持管理を行う。						ᄬᇷᆉᄷᆸᇝᆌᇎᄥᆉᄿᅲ	
	寻	F 段	実施されている。	政の心正な飛行日達で1]フ。	を 別には 本	孙伯扬州用品	又C11、/母の	水の自注定名 次	₹О.Э.ХЮТ ТИО•	巡兵の改直放公寺/	ア・地元無励により
				指標名			単位	H30年度実統	責H31年度美	[績 R2年度実績	R3年度見込
指	٠	E1 11×1=	公園利用者		目標	標値	人	17500	17500	17500	17500
標	洁!	動指標			実績		人	14700	18100	11500	-
1					目標道		%	84.0	103.4	65.7	-
			(単位:千円)	平成29年度 決算		年度 決算		1年度決算	令和2年		3年度予算
	L _	・タルコス		15,941	T104,3 U	13,643	T104.5	12,171	737H Z 17 7	8,414	11,685
		事業費	VI.	10,783		9,971		8,540		4,836	8,823
			国庫支出金	0		0		0,540		0	0,823
			到库文山亚 具支出金	0		0		0		0	0
٦.			R.文山亚 也方債	0		0		0		0	0
_		10-1									
ス		(居)	受益者負担	0		0		0		0	0
ト		// ^{//*} ₹	その他	0		0		8		0	10
		一般	般財源 10,783			9,971		8,532		4,836	8,813
		人件費的	- /			3,672		3,631		3,578	2,862
		正職	員	5,158		3,672		3,631		3,578	2,862
			員以外	0		0		0		0	0
			業費集計済分)	(0)		(0)		(0)		(0)	(0)
人	正期		(人)	0.70		0.50				0.50	
		戰員以外		0.00		0.00		0.00		0.00	0.40
			辺環境	0.00		0.00		0.00		0.00	0.00
				平成2年に開設した。夏期に	+海の家が	ひ置され 海水	(公担と) .て:	た利田さわている	<u> </u>		
	/ /-5 /7		工子未守て正備の	1 /3/2 — IC/AIDXO/C6 32/4/10	2/1-3 07 27 (7) B	XECT N 1971	v _□ -‰со с	۵۰۱۵ تا	,,		
周	担外	犬の周辺	17票1倍								
辺				ト スケスのV#++ 笠田-ドン 田							
環	年间	で埋しし	利用有か多いことか	ら、通年での維持管理が必要	そじめる。						
境	•										
			される周辺環境								
	親水	く機能を何	浦えた市内唯一の海	浜公園であり、適正な管理の	もと年間を	通じた利用者	の増加を図る	3.			
			評価項	目	評価				評価の理由		
	妥_	1. 7	5の関与(税金3	支出)	Α	市内にある親	水機能を備	請えた唯一の海洋	会公園であり、市	が関与すべきである。	,
	ᆇᄐ	2 1	事務事業の目的	(対象・章図)	Α						
	性性										
			事務事業の目標	(冶劉指倧寺)	Α						
	+	4. 🛙	十画の実施状況		С	新型コロナウ	イルス感染症	Eの影響により、:	長田海水浴場の	D開設が出来なかった	-0
	有	5. E]標(活動指標等	等)の達成度	С						
= 00	効	6	上位施策への貢献	护度	В						
評	性										
価				へのさらなる取組み	В						
	効	8. 🗆	スト削減へのさら	おなる取組み	Α	安全性や経済	済性を検討し	し、最適な手段で	で実施している。		
	率	9. *	類似事業との統合	・代替の検討	Α						
	性	10	これまでの実施		Α	1					
	総			利用者があり必要な事業であ		<u> </u> -経費で 流す	Fか告冊.準	受に奴みている			
	合評価	В	十四と延び多くの	4.37.11 日 2	7 PC 24 00		L		0		
	今後	の実施	方向性	維持親水機能	どを備えた市	内唯一の海流	兵公園であり)、適正管理のも	と年間を通じた	利用者の増加を図る	
				11 La 15				= . •			
改				战果維持 ————————————————————————————————————							
革	コス	卜方向	生	スト維持							
-	改革	萨効果	(どのような効果だ	が期待できるか)							
*											

令和3年度 事務事業評価表 令和2年度実績

TJ.	TH	<u> </u>	干皮 事務事果評価表 (
事	务事	業名	水産業振り	叫一般事務費					担当所属	水産課		
基	分	野	6産業·観光					事業期間	平成2	5年度 ~		
本情	基	本施策	1 農林水産業	の振興				会計種別				
報	推	進施策	3 生産体制の	強化と販路の拡大				実施計画		総合	戦略	
	Ż	対 象	市民、小学生									
事業	Ř	意 図		≨進や食文化の伝承・食生活 学生を対象に「つくり育てる漁						物の消費拡え	たと魚食の	普及に関する啓
概要	Б	成 果	出前講座の実施及の普及についての交	び学校給食への食材提供(効果が期待される。	こより、市民の水産物	に対する関	心を高	らい、 地元水産物	の消費拡大を	図ることで、	也産地消	の推進及び魚食
	Ħ.	手 段		産物消費拡大運動推進協議会の補助金を活用して、学校給食で地場水産物食材を提供する。 下松市栽培漁業センターの職員による「つくり育てる漁についての出前講座等を開催する。 指標名 ### ################################								る「つくり育てる漁
				指標名						R3年度見込		
指	:=:	動指標	出前講座等の回	で 目標値				7	10			10
標	心	勤 1日(示			実績値	実績値		10	8		7	-
					目標達成度	%		142.9	80.0	70	0.0	-
			(単位:千円)	平成29年度 決算	平成30年度 🤃	中 算	成3∶	1年度 決算	令和2年	度 決算	令和	3年度 予算
		タルコ		2,123		150		2,123		2,458		3,174
		事業費		1,018	1,0)48		1,034		1,027		1,027
			国庫支出金	0		0		0		0		0
_		-	県支出金	0		0		0		0		0
		18+1	地方債	0		0		0		0		0
ス・		源	受益者負担	0		0		2		0		3
1			その他	2		0		0		0		0
			没財源 : 本=1	1,016		048		1,032		1,027		1,024
		人件費	(合計 截員	1,105	1,102			1,089 1,089		1,431		2,147
			^{戦員} 哉員以外	1,105 0	1,102			1,089		1,431 0		2,147
			戦兵以死 事業費集計済分)	(0)		(0)		(0)		(0)		(0)
人	正月	哉員	(人)	0.15	0.1	` /		0.15		0.20		0.30
		哉員以	外 (人)	0.00	0.0	_		0.00		0.00		0.00
	盟加	治時の	司 辺環境									
	17737											

現状の周辺環境 辺

環 境 水産物の消費拡大を推進するうえで必要な事業である。

今後の予想される周辺環境

子どもの魚食離れが進む中、学校給食への水産物食材の活用は重要であり、今後も計画的に提供していく。また、栽培漁業の出前講座を通じて、小学生の地場水産物 への関心を高める。

			評価項目	評価	評価の理由
	妥 _	_	の関与(税金支出)	Α	子どもの魚食離れが進む中、栽培漁業の出前講座を通じて、小学生の地場水産物への関心を
	当自	2. 事	務事業の目的(対象・意図)	Α	高めることは、重要である。
	性	3. 事	務事業の目標(活動指標等)	Α	
	+	4. 計	画の実施状況	В	計画通り実施できた。
	有効	5. 目	標(活動指標等)の達成度	C	
評	性	6. 上	位施策への貢献度	В	
価	1	7. 事	業成果の向上へのさらなる取組み	В	
	効	8. ⊐	スト削減へのさらなる取組み	Α	子どもたちの、地場水産物への関心を高める最適の手段で実施している。
	率	9. 類	似事業との統合・代替の検討	Α	
	性	10.	これまでの実施手段	Α	
	総		タコ飯給食については、食材のタコを提供、出前	講座では講	講師派遣により「つくり育てる漁業について」の研修を実施している。2つの事業とも専門家からの
	合	В	話を聞くだけでなく、実物との触れ合いを行うこと	で、水産業	に興味を持ってもらうことができている。
	評	P			
	価				

今後の実施方向性 拡充 成果方向性 成果上昇 コスト方向性 コスト増大 革

学校給食への水産物食材の活用は重要であり、タコ飯給食では今後も地元のタコの提供を実施していく。出前講座 では、「つくり育てる漁業」について栽培漁業センター職員の派遣による講座回数を増やすなどして、より多くの小学生が 地場水産物への関心を高めるようにする。

	務事	業名	增養殖稚魚	点寺					担当所属	水産課		
ţ	分	野	6産業・観光					事業期間		~		
		 本施第		の振興				会計種別				
i	_	生施第		強化と販路の拡大				実施計画	該当	総合単	战略	
			漁業者、市民									
	灰	す 象										
			稚魚等の種苗を放	な流することで水産資源の枯渇	化を防止する	と共に、栽は	音漁業の定	着化を促進し、漁	魚業生産の安定	向上と水産資	資源の増大を図	ସ୍ତି ର
≣	尼											
ŧ T			海業生産の安定は	ョ <u>上と水産資源の増大が図ら</u> れ	1る.							
r E	成	1 果	/////////////////////////////////////									
•												
			キジハタ、トラフグ等	の種苗放流(11魚種)								
	手	段										
			71. 57 - 11. 3 5 157 1	指標名				H30年度実統				年度見込
i E	活動	動指標	稚魚の放流個体	× έ χ	目標値		尾・個	28	28	28		28
Ę					実績値		5尾·個 %	28 100.0	28 100.0	92.		
			(単位:千円)	平成29年度 決算	日候達成 平成30年			100.0 1年度 決算	令和2年		9 令和3年 /	ま 予質
	 	タルコ		11,420		11,235	1 11/4 3	12,208		12,930		13,289
		事業資	į	9,578		9,399		10,393		11,499		11,500
		特	国庫支出金	0		0		0		0		C
		定	県支出金	0		0		0		0		
!		財	地方債 受益者負担	0		0		0		0		C
		源				0		0		0		
•		\vdash	モの他 般財源	9,578		9,399		10,393		_		1,000
			多数	1,842		1,836		1,815	11,499 1,431			1,789
			~— 職員	1,842		1,836		1,815		1,431		1,789
			職員以外	0		0		0		0		C
	T HI		事業費集計済分)	(0)		(0) 0.25		(0)		(0)		(0
l	正職正職		(人) 外 (人)	0.25				0.25		0.20		0.25
•		ᅚᄪᅜ		0.00		በ በበ		0.00		0.00		0.00
	開始					0.00		0.00		0.00		
		時の	周辺環境	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	首放流を実施す			0.00		0.00		
		時の	周辺環境)所得向上に寄与するため種苗	首放流を実施す			0.00		0.00		
1	水産	治時の 資源の	周辺環境	所得向上に寄与するため種苗	苗放流を実施す			0.00		0.00		
9 0	水産 現状	台時の 資源の	周辺環境 D確保及び、漁業者の 辺環境	の漁業生産整備事業を実施る		する。	流量は減少			0.00		
司 2	水産 現状 平成	台時の 資源の 犬の周 (26年)	周辺環境 D確保及び、漁業者の 辺環境 度からタコツボ産卵床	の漁業生産整備事業を実施す		する。	流量は減少			0.00		
司 2	水産 現状 平成 今後	治時の 資源の 犬の周 は26年	周辺環境 D確保及び、漁業者の 辺環境 変からタコツボ産卵床 想される周辺環境	の漁業生産整備事業を実施す	することとしたた	する。		としている。				
9 0	水産 現状 平成 今後	治時の 資源の 犬の周 は26年	周辺環境 D確保及び、漁業者の 辺環境 変からタコツボ産卵床 想される周辺環境	の漁業生産整備事業を実施す	することとしたた	する。		としている。	な放流を継続する			
司 2	水産 現状 平成 今後	治時の 資源の 犬の周 は26年	周辺環境 D確保及び、漁業者の 辺環境 度からタコツボ産卵床 想される周辺環境 型水産業には種苗放	の漁業生産整備事業を実施す	することとしたたの確保及び、氵	する。		うしている。				
司 2	水産 現状 平成 今後	治時の 資源の は26年 後の予 で管理型	周辺環境 D確保及び、漁業者の 辺環境 度からタコツボ産卵床 想される周辺環境 型水産業には種苗放	の漁業生産整備事業を実施で の漁業生産整備事業を実施で である。水産資源	することとしたたの確保及び、注	する。 め、稚魚放 魚業者の所	得向上に客	としている。 写与する効果的な	評価の理由			
	水産 現 状 平成 今後 資源	治時の 資源の (26年) (26年) (26年)	周辺環境 D確保及び、漁業者の 辺環境 度からタコツボ産卵床 想される周辺環境 型水産業には種苗放 評価項 市の関与(税金:	の漁業生産整備事業を実施で 流は不可欠である。水産資源 種目 支出)	することとしたたの確保及び、注 では、 のではないできます。	する。 め、稚魚放 魚業者の所	得向上に客	うしている。	評価の理由			
	現	台時の 資源の 26年 26年 第 管理型 1. 2.	周辺環境 D確保及び、漁業者の 辺環境 度からタコツボ産卵床 想される周辺環境 型水産業には種苗放 評価項 市の関与(税金: 事務事業の目的	の漁業生産整備事業を実施で 流は不可欠である。水産資源 項目 支出) (対象・意図)	することとしたた の確保及び、》 評価 A ě	する。 め、稚魚放 魚業者の所	得向上に客	としている。 写与する効果的な	評価の理由			
	水産 現 状 平成 今後 資源	治時の 資源の (26年) (26年) (26年) (1.2.1) (2.3.1)	周辺環境 D確保及び、漁業者の 辺環境 度からタコツボ産卵床 想される周辺環境 型水産業には種苗放 市の関与(税金: 事務事業の目的 事務事業の目標	の漁業生産整備事業を実施で 流は不可欠である。水産資源 項目 支出) (対象・意図)	することとしたた の確保及び、注 評価 A A	する。 め、稚魚放 魚業者の所 資源管理型	水産業には	としている。 寄与する効果的な 種苗放流は不可	評価の理由]欠である。	3.	シ宝体オス	
	水産 現 状 平成 今後 資源	台時の 資源の その局 (226年) (226年) (226年) (227年) (237年) (237年) (247年	周辺環境 D確保及び、漁業者の 辺環境 度からタコツボ産卵床 想される周辺環境 型水産業には種苗放 中の関与(税金: 事務事業の目標 計画の実施状況	の漁業生産整備事業を実施す 流は不可欠である。水産資源 百目 支出) (対象・意図) (活動指標等)	することとしたた の確保及び、注 評価	する。 め、稚魚放 魚業者の所 資源管理型	水産業には	としている。 写与する効果的な	評価の理由]欠である。	3.	で実施する。	
	水 現材	台時の 資源の 3 2 2 6 4 1 2 3 4 5	周辺環境 D確保及び、漁業者の 辺環境 度からタコツボ産卵床 想される周辺環境 型水産業には種苗放 評価項 市の関与(税金: 事務事業の目的 事務事業の目標 計画の実施状況 目標(活動指標	の漁業生産整備事業を実施。 流は不可欠である。水産資源 類目 支出) (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度	が	する。 め、稚魚放 魚業者の所 資源管理型	水産業には	としている。 寄与する効果的な 種苗放流は不可	評価の理由]欠である。	3.	と実施する。	
100景色	水 現状 今資 妥当性 有	台時の 資源の 成226年 第226年	周辺環境 D確保及び、漁業者の 辺環境 度からタコツボ産卵床 想される周辺環境 型水産業には種苗放 中の関与(税金: 事務事業の目的 事務事業の目標 計画の実施状況 目標(活動指標: 上位施策への貢献	の漁業生産整備事業を実施。 流は不可欠である。水産資源 質目 支出) (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 状度	することとしたた の確保及び、注 評価	する。 め、稚魚放 魚業者の所 資源管理型	水産業には	としている。 寄与する効果的な 種苗放流は不可	評価の理由]欠である。	3.	定実施する。	
	水 現	台時の 資源の 3.26年 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.	周辺環境 D確保及び、漁業者の 辺環境 度からタコツボ産卵床 想される周辺環境 型水産業には種苗放 市の関与(税金: 事務事業の目標 計画の実施状況 目標(活動指標: 上位施策への貢献 事業成果の向上	の漁業生産整備事業を実施す 流は不可欠である。水産資源 (百日 支出) (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 、のきらなる取組み	することとしたた の確保及び、注 評価 A A A A A A A A A	する。 め、稚魚放 魚業者の所 資源管理型 〈産資源の	得向上に答 水産業には 確保及び、シ	やしている。 寄与する効果的な 種苗放流は不可 魚業者の所得向	評価の理由]欠である。 上に寄与するた	る。		
	水 現	台時の 資源の は大の周 (226年) 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.	周辺環境 D確保及び、漁業者の 辺環境 度からタコツボ産卵床 想される周辺環境 型水産業には種苗放 神の関与(税金: 事務事業の目標 計画の実施状況 目標(活動指標: 上位施策への貢献 事業成果の向上の コスト削減へのさき	の漁業生産整備事業を実施す 流は不可欠である。水産資源 質目 支出) (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	か確保及び、注 評価 A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	する。 め、稚魚放 魚業者の所 資源管理型 〈産資源の	得向上に答 水産業には 確保及び、シ	としている。 寄与する効果的な 種苗放流は不可	評価の理由]欠である。 上に寄与するた	る。		
	水 現 平 今 資 妥当性 有 効性 効率	台時の 資源の は26年 は26年 をの予 管理型 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9.	周辺環境 D確保及び、漁業者の 辺環境 度からタコツボ産卵床 想される周辺環境 型水産業には種苗放 中の関与(税金) 事務事業の目標 計画の実施状況 目標(活動指標) 上位施策への両に コスト削減へのさら	の漁業生産整備事業を実施。 流は不可欠である。水産資源 質目 支出) (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 状度 いのさらなる取組み なる取組み 合・代替の検討	が	する。 め、稚魚放 魚業者の所 資源管理型 〈産資源の	得向上に答 水産業には 確保及び、シ	やしている。 寄与する効果的な 種苗放流は不可 魚業者の所得向	評価の理由]欠である。 上に寄与するた	る。		
	水 現 現 平 今 資	台時の 資源の は26年 は26年 をの予 管理型 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9.	周辺環境 D確保及び、漁業者の 辺環境 度からタコツボ産卵床 想される周辺環境 型水産業には種苗放 神の関与(税金: 事務事業の目的 事務事業の目標 計画の活動指標: 上位施策への貢献 事業成果の向上・コスト削減へのさど 類似事業との統合	の漁業生産整備事業を実施す 流は不可欠である。水産資源 質目 支出) (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 状度 へのさらなる取組み らなる取組み 合・代替の検討 手段	することとしたた の確保及び、注 評価 A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	する。 め、稚魚放 魚業者の所 資源管理型 <産資源の	得向上に客水産業には 水産業には 確保及び、3	やしている。 寄与する効果的な 種苗放流は不可 魚業者の所得向	評価の理由 「欠である。 上に寄与するた	る。		
	水 現 現 平 今 資	台時の 資源の は か か か か か か か か か か	周辺環境 D確保及び、漁業者の 辺環境 度からタコツボ産卵床 想される周辺環境 型水産業には種苗放 下の関与(税金: 事務事業の目標 計画で(活動指標: 上位施策への両上の コスト削減へのさら 類似事業との統合 これまでの実施	の漁業生産整備事業を実施。 流は不可欠である。水産資源 質目 支出) (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 状度 いのさらなる取組み なる取組み 合・代替の検討	することとしたた の確保及び、注 評価 A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	する。 め、稚魚放 魚業者の所 資源管理型 <産資源の	得向上に客水産業には 水産業には 確保及び、3	やしている。 寄与する効果的な 種苗放流は不可 魚業者の所得向	評価の理由 「欠である。 上に寄与するた	る。		
100景色	水 現 現 平 今 資	台時の 資源の は26年 は26年 をの予 管理型 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9.	周辺環境 D確保及び、漁業者の 辺環境 度からタコツボ産卵床 想される周辺環境 型水産業には種苗放 下の関与(税金: 事務事業の目標 計画で(活動指標: 上位施策への両上の コスト削減へのさら 類似事業との統合 これまでの実施	の漁業生産整備事業を実施す 流は不可欠である。水産資源 質目 支出) (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 状度 へのさらなる取組み らなる取組み 合・代替の検討 手段	することとしたた の確保及び、注 評価 A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	する。 め、稚魚放 魚業者の所 資源管理型 <産資源の	得向上に客水産業には 水産業には 確保及び、3	やしている。 寄与する効果的な 種苗放流は不可 魚業者の所得向	評価の理由 「欠である。 上に寄与するた	る。		
	水 現 平 今 資	台時の 資源の は か か か か か か か か か か	周辺環境 D確保及び、漁業者の 辺環境 度からタコツボ産卵床 想される周辺環境 型水産業には種苗放 下の関与(税金: 事務事業の目標 計画で(活動指標: 上位施策への両上の コスト削減へのさら 類似事業との統合 これまでの実施	の漁業生産整備事業を実施す 流は不可欠である。水産資源 質目 支出) (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 状度 へのさらなる取組み らなる取組み 合・代替の検討 手段	することとしたた の確保及び、注 評価 A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	する。 め、稚魚放 魚業者の所 資源管理型 <産資源の	得向上に客水産業には 水産業には 確保及び、3	やしている。 寄与する効果的な 種苗放流は不可 魚業者の所得向	評価の理由 「欠である。 上に寄与するた	る。		
	水 現平 今資 妥当性 有效性 效率性総合評価	台時の 資源の はなの はなの で はなの で で で で で で で で で で	周辺環境 D確保及び、漁業者の 辺環境 度からタコツボ産卵床 想される周辺環境 型水産業には種苗放 下の関与(税金: 事務事業の目標 計画で(活動指標: 上位施策への両上の コスト削減へのさら 類似事業との統合 これまでの実施	の漁業生産整備事業を実施する。水産資源原理目を出り(対象・意図)(活動指標等)等)の達成度、 はなる取組みる・代替の検討 手段 がなどブランド化につながる魚種の	することとしたたの確保及び、注 評価 A A A B A A A A A A	する。 め、稚魚放 魚業者の所 資源管理型 〈産資源の 〈産資源の	得向上に書水産業には 水産業には 確保及び、注	やしている。 寄与する効果的な 種苗放流は不可 魚業者の所得向	評価の理由]欠である。 上に寄与するた	る。		
9 9 5 6	水 現平 今資 妥当性 有效性 效率性総合評価 今	台時の 資源の はなの はなの で はなの で で で で で で で で で で	周辺環境 D確保及び、漁業者の 辺環境 度からタコツボ産卵床 想される周辺環境 型水産業には種苗放 市の関与(税金: 事務事業の目標 計画標(活動指標: 上位施策への向上・コスト削減へのさら 類似事業との統治 これまでの実施 キジバタやトラフグ	の漁業生産整備事業を実施する。水産資源原理目を出り(対象・意図)(活動指標等)等)の達成度、 はなる取組みる・代替の検討 手段 がなどブランド化につながる魚種の	することとしたたの確保及び、注 評価 A A A B A A A A A A	する。 め、稚魚放 魚業者の所 資源管理型 〈産資源の 〈産資源の	得向上に書水産業には 水産業には 確保及び、注	いている。 野与する効果的な 種苗放流は不可 魚業者の所得向 的な放流に努め	評価の理由]欠である。 上に寄与するた	る。		
	水 現平 今資 妥当性 有效性 效率性総合評価 今成	台時の 資源の は は か は か か が が が が が が が が	周辺環境 D確保及び、漁業者の 辺環境 度からタコツボ産卵床 想される周辺環境 型水産業には種苗放 神の関与・の目的 事務事業の目標 計画の(活動との高速 事業の前上・コスト削減へのさど 類似事業との統合 ・これまでの実施 ・これまでの実施	の漁業生産整備事業を実施。 流は不可欠である。水産資源 質目 支出) (対象・意図) (活動指標等) 等)の達成度 状度 へのさらなる取組み おなる取組み おくで替の検討 手段 がなどブランド化につながる魚種 維持	することとしたたの確保及び、注 評価 A A A B A A A A A A	する。 め、稚魚放 魚業者の所 資源管理型 〈産資源の 〈産資源の	得向上に書水産業には 水産業には 確保及び、注	いている。 野与する効果的な 種苗放流は不可 魚業者の所得向 的な放流に努め	評価の理由]欠である。 上に寄与するた	る。		

19.													
事	务事	業名	漁業生産	基盤整備事業	費					担当所属 水産課			
基	分	野	6産業・観光						事業期間		~		
本		上施策		美の振興					会計種別				
情 報		並施策		強化と販路の拡え	+				実施計画		総合戦略		
TIA			漁業者、市民	32,00,000	<u> </u>						1021102		
	対	象											
			周南西地区の近流	毎において、タコの産り	卵床用タコ	ツボを沈設する	ることで、戸	田産タコの資	資源確保と生産	拡大を図る。			
事	意	図											
業													
概			産卵用の素焼きタ	コツボ沈設数 2,00	00個 タコ	の漁獲量 約6	41t						
要	成	果											
			戸田·大津島地区	区近海で産卵用の素	焼きタコツァ	ボを沈設する。							
	手	段											
				指標名				単位	H30年度実	績H31年度到	€績 R2年度実終	責 R3年度見込	
指	注手	加指標	タコツボの沈設数	女		目標値 個		個	4000	2800	2800	2800	
標	石里	がはいます。	•			実績値	直	個	3315	2850	2000	-	
						目標達成度 %			82.9	101.8	71.4	-	
			(単位:千円)	平成29年度	決算	平成30年	度 決算	平成3	1年度 決算	令和2年	度 決算 令和	13年度 予算	
		タルコ			,606		2,235		2,227		2,865	2,867	
		事業費		1	,501		1,501		1,501		1,076	1,078	
			国庫支出金		0		0		0		0	0	
_			県支出金 地方債		450		450		450		322	322	
		B-∔	心刀傾 受益者負担		0		0		0		0	0	
ス		2155				0					_		
۲			その他		0	1.051			0		0	0	
	Ь		一般財源 1,051 件費合計 1,105			1,051 734		1,051 726		754 1,789	756 1,789		
			<u> ロロ </u>		,105		734		726		1,789	1,789	
			^{職員} 職員以外	1	0		7.54		0		0	0	
		-	事業費集計済分)		(0)		(0)		(0)		(0)	(0)	
人	正職		(人)	0.	.15		0.10		0.10		0.25	0.25	
員	正職	員以	外(人)	0.	.00		0.00		0.00		0.00	0.00	
周辺環境	現状 平成 2	の周) 26年』 の予	辺環境 こり実施しているが、 う 思される周辺環境	とが進む中、地元漁並 予算削減によりタコツ。 は り購入単価が上昇す	ボの沈設数	女が減少傾向(が重い日人	\/\frac{1}{2} \rightarrow \frac{1}{2} \rightarrow \fra	υ ο			
	コスト	の上升	が影響し、タコツ小の	焼入半畑か上弁9	る円形性人	ාග බං							
			評価項	頁目		評価				評価の理由			
	妥_	1.	市の関与(税金	支出)		A F	田産タコの	資源確保と	生産拡大を図る	るため必要である	00		
	当性	2.	事務事業の目的	(対象·意図)		Α							
	性的	3.	事務事業の目標	(活動指標等)		Α							
		4.	計画の実施状況			В 9	コツボの沈調	没数が減少	し、また平成3() 年度よりタコの	漁獲量が減少傾向	にある。	
	有		目標(活動指標	等)の達成度		С							
	効		上位施策への貢献			В							
評	性				.								
価				へのさらなる取組	77	Α	- > -	-n 1/4 + 146 L n-		+ v.+l m (***********************************			
	効		コスト削減へのさ			A 9	コツ水の沈は	設 数を増加	することで、よりナ	では別果が期代	すじさる。		
	率	9.	類似事業との統合	合・代替の検討		Α							
	性	10	. これまでの実施	手段		В							
	総		タコの漁獲量の	検証を行うとともに、 原	引南ブラント	である「周南カ	たこ」の P R	.を図る。					
	合	В	,										
	評価	_											
		Λ \$ #		∀# +±	리ᆂᄹᆂᆂ	沈郎 たかつ	い光の登録し	はいってった	コンガを実施す:	z			
			方向性	維持 	コロ称で、	、 <i>ル</i> 店又したグコ!	ノハツ生が	1八川いて二ク	列ングを実施する	ەلد			
ᄄ		方向		成果維持									
-		卜方向		コスト維持									
案	改革	効果	(どのような効果	が期待できるか)									

13.	ТН	<u> </u>	- 文 =	尹物尹	未計価衣	'	וזערו	2 +	又大小	共					
事	务事	業名	3 内:	水面増養	養殖事業費							担当所属	水産課		
基	分	野	6 产当	 €∙観光							事業期間			,	
本		本施設		林水産業	の振闘						会計種別		-	•	
情		生施 進施			の派典 強化と販路の拡え	<u> </u>					実施計画		\$\$\$	戦略	
報	推	些 厄克			3976と以近のガムノ						天旭計画		祁口	学人中台	
	文	寸 象													
事業	Ē	区			るび内水面漁協へG		施することで	、内水区	面の生産	力の維	持増大を図る。				
概要	Б	戈 果		の生産力の	維持増大が図られ	3.									
	III.	F 段			地区、錦川水系鹿	野、大向、	長穂、須金	え、及び』	島田川水	系にアニ					
					指標名				単	位	H30年度実	遺H31年度詞	€績 R2年	度実績	R3年度見込
指	 .	er TW T	アユの	稚魚放流	数		目標	値	k	g	100	100	1	.00	100
標	活	動指標	景				実績	値	k	a	102.1	100.1	9	1.5	-
							目標達		9		102.1	100.1	_	1.5	_
			(単位	: 千円)	平成29年度	決 質 3	平成304			-	1年度決算	令和2年			3年度 予算
	 	タルコ		.]/		,597	5 0 .	1,5		. ,,,,,	1,586	13711 2 77	1,933	ыты	1,933
		事業				860					860		860		860
			同唐士	出金		0		860			000		0		0
		特	直 支出:			0			0		0		0		0
J		定	地方債			0			0		0		0		0
ス		財	受益者:	各切		0			0		0		0		0
		源		只让											
۲			その他			0			0		0	0			0
	L		般財源 860 を含める 237 を含む 737 を含む 237 を含				60		860	860			860		
							34		726		1,073		1,073		
				商員 737			/	34		726		1,073		1,073	
			職員以外	-		0			0		0	0			0
	. T H3		事業費集			(0)			(0)		(0)		(0)		(0)
	正則		1 <i>h</i> J	(人)		.10		0.1			0.10		0.15		0.15
		0000		(人)	Ü	.00		0.0	U L		0.00		0.00		0.00
)周辺環境												
	アユ	の椎焦	は放流、及(州水田 馮	協への補助を実施す	ることで、	内水面の生	産刀の	維持瑁ブ	てを図る	•				
周		h - F	11												
辺			辺環境												
環	内水	〈面増	養殖事業は	は継続して実	€施しているが、カワ'	う等の有害	鳥獣による	被害が込	丘年拡大	している	,)。				
境															
.,,	今往	後の予	想される	周辺環境											
	カワ	う等の	有害鳥獣は	こよる被害の	拡大防止の強化。										
				評価項	目		評価					評価の理由			
	ਲ	1.	市の関与	ラ (税金3	支出)		Α	内水面	の生産力	」の維持	増大を図る。				
	妥当		事務事	業の目的	(対象・意図)		Α								
	当的性				(活動指標等)		Α								
			計画の影		(VIII) TOTAL			ロートエ	Λ/ / ± ⊥		増大が図られる。				
	有							NAVEN	の土座人	ノロンが圧する	は人で区ので	•			
	効	5.	目標()	古動指標等	等)の達成度		В								
評	性	6.	上位施第	策への貢献	大度		В								
価	ΙΞ	7.	事業成績	果の向上へ	へのさらなる取組	}	Α								
,,,,,,	効	-			なる取組み		Α	カワウ筌	の有害	急獣によ	る被害の拡大防	止の強化が必要	更である。		
								,,,,,	211U	,у <u>ш</u> /псоч		E-03 X10/3 X0 3	2 (0)00		
	率	_			・代替の検討		Α								
	性	1 (での実施			В								
	総合評価	4	漁協 [:]	や県農林水	産事務所と連携し	効果的なが	牧流に努める	5.							
		をの宝	施方向性		維持	III□l目⋾k	(産研究セン	クーが筆	≧旃するで	77の声	生産研究等の結	果も検証しかか	ら事業を継	続する	
						山口禾小	·/エッI 九 じノ	, 11. 7	くいじ クランノ	 ∨/ 11 :	ᆚᆂᄢᄓᄾᅾᄱᅹ	シトロス皿しなり	ノナ木で作	סלס' לי טלוי	
GX		見方向			以果維持										
革		卜方[スト維持										
案	改革	直効果	そ (どのよ	うな効果だ	が期待できるか)										

节	扎 、	<u>3 4</u>	F度 事務事	事業評価表 (令和	12年	度美	績)				
事務	务事	業律	3 漁業金融	対策事業費						担当所属	水産課		
基	分	里	6 産業・観光						事業期間	平成1	5年度 ~	,	
本	基本	ト施領		業の振興					会計種別				
情報	推進			D強化と販路の拡大					実施計画		総合	戦略	
ŦIX	JE-2	_,,6,	漁業者	71A (OC//ADD ~7)/A/ (人,,601日		THE I	TW-H	
,	対	象		化及び安定化に対する支援を	行 う.								
事業	意	図				() /2 AN	× = *	*\ o = 	. // . / *[[] > do _ \/7 d	##/\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		1.1814.14	-lo 7
概要	成	果		の利子補給によって、漁業者の) 貫本装備	(漁船、	洪 县表	計)の局度	化か図られ、漁	美経宮の近代1	L及U女正1	Cか推進。	ະ1ເຈ _ົ
	手	段		備(漁船、漁具等)の高度化	と及び経営の 	近代化	に必要) _e		
				指標名					H30年度実統	漬H31年度到	€績 R2年	度実績	R3年度見込
指			新規の利子補給	給件数	目標	慩		件	1	1		1	1
標	活動	が目れ	示		実績			件	1	0		0	-
1231					目標達			%	100.0	0.0		.0	
			(出任, 4円)	東出るの左座 海笠							-		- 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
		<i>h</i> :: -	(単位:千円)	平成29年度 決算	平成30			一十八八	1年度 決算	令和2年		节机	3年度予算
			コスト	796		/	72		748		1,086		1,125
	引	事業:		59			38		22		13		52
		特	国庫支出金	0			0		0		0		0
		定	,以上	0			0		0		0		0
\Box			地力領	0			0		0		0		0
ス		財	1文益有具担	0			0		0		0		0
<u> </u>		源	その他	0			0		0		0		0
		H=		59			38		22		13		52
	-					_							
	ا ا		合計 737 職員 737				'34		726		1,073		1,073
						/	'34		726		1,073		1,073
			職員以外	0			0		0		0	0	
			(事業費集計済分)	(0)		(0)			(0)	(0)			(0)
	正職		(人)	0.10		0.10			0.10		0.15		0.15
員	正職	ラリ	以外(人)	0.00		0.0	0		0.00		0.00		0.00
辺 環 境	漁業 今後	者の う	引辺環境 減少に伴い利用者が を想される周辺環境 減少・高齢化により新		。漁家経営者	者の安定	:(Kict	分けた利用す	者の増加のためり	景漁協と連携し	効果的な P	Rを実施	する 。
			評価	15日	評価					評価の理由			
						'A***	\(\(\sigma\)\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	h to para / /					
	妥目		市の関与(税金	· · · · · ·	Α	洪耒首	の栓宮	全盛强化	のために必要な	尹耒じめる。			
	当的	2.	事務事業の目的	(対象·意図)	Α								
	性	3.	事務事業の目標	(活動指標等)	Α								
		-	計画の実施状況			新規利	用者が	がなく、既存	の利用者への利	子補給のみ実	施。		
	有					,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	/J		. , 5, 15 🗀 😁 💮				
	効		目標(活動指標		С								
評	性	6.	上位施策への貢	献度	С								
価	II	7.	事業成果の向上	へのさらなる取組み	В	1							
""	**	-	コスト削減へのさ		A	完全性	や終落	処性を検討	し、最適な手段を	を違んでいる			
	効					女主压	八二小土ノ戸	コエではい	ひ、取過な子段	と述んでいる。			
	率	9.	類似事業との統領	合・代替の検討	Α								
	性	1 (O. これまでの実 が	手段	Α								
	総合評価	ı	漁業者の資本	投備(漁船・漁具等)の高度	化が図られ、	漁業者	の経営	基盤強化	のために必要な	事業である。			
	今後	の実	施方向性	維持現在は金	会融政策によ	り利子部	部分の	利用者負担	旦が 0 であること	を関係機関等/	積極的に P	Rし、制	度の活用を促
				ж <u>т</u>									
改	成果	万向	训生	成果維持									
	コス	ト方	向性	コスト維持									
	改革	効具	! (どのような効果										
未		- 130											

===		- ALL &-	-1. T. A. T.	45 146 45 3X 18 11	~~ -	æ				10.14.5C	L. rtr =m		
事	労 事	業名	水産多面的	束事業	賀				担当所属	水産課			
基	分	野	6産業·観光						事業期間		^	,	
本情	基本	本施策	1 農林水産業	(の振興					会計種別				
報	推	進施策	3 生産体制の	強化と販路の拡え	t				実施計画		総合	戦略	
	灾	寸 象	漁業者、市民								•		
事	意	三 図	水産業や漁村が存	ョする水産物供給機	能及び水	質浄化、文化継	承等の多	多面的機能	の発揮を支える	舌動を支援する	do .		
業概要	成	以果	水産業や漁村が存	ョする水産物供給機	能及び水	質浄化、文化継	承等の多	多面的機能	の発揮。				
	手	€段	干潟の保全、海岸	清掃等を行う活動	組織を支援	⋚する 。							
				指標名				単位	H30年度実	着H31年度5	髺績 R2年	度宝績	R3年度見込
指			 活動組織数	1日1水1口		目標値		組織	3	·····································	大小貝 八乙十	· 文 天假 2	2
	活動	勧指標	/ 古里// 社和安义						_				
標						実績値		組織	2	2		2	-
						目標達成度		%	66.7	66.7		0.0	-
			(単位:千円)	平成29年度		平成30年度		平成3	1年度 決算	令和2年		令和	3年度 予算
		タルコス	(F		,692		3,201		2,184		2,018		2,524
	1	事業費		1	,587	1	L,732		732		587		735
		特	国庫支出金		0		0		0		0		0
			具支出金		163		163		163		135		163
J		定力	也方債		0		0		0		0		0
ス		18-⊁1-	受益者負担		0		0		0		0		0
		(1)西川			0								
٢			その他		•		0		0		0		0
	L		財源		,424		L,569		569		452		572
		人件費			,105		L,469		1,452		1,431		1,789
		正職		1	,105	1	L,469		1,452		1,431		1,789
			員以外		0		0		0		0		0
		(事	業費集計済分)		(0)		(0)		(0)		(0)		(0)
人	正單	裁員	(人)	0	.15	0	.20		0.20		0.20		0.25
員	正聯	裁員以外	(人)	0	.00	0	.00		0.00		0.00		0.00
唐	現 物 平成	犬の周辺 25年度 後の予想	2環境 から3年間(第1期 まされる周辺環境	共給機能及び水質済 用事業)、平成28年 は	三度からの5	年間(第2期事	業)の乳	実施により活	動組織の支援	を行ってきた。弓			
			評価項	頁目		評価				評価の理由			
	-	1. 7	市の関与(税金:	支出)		A 水産	業や漁	村の多面的	機能の発揮を支	える事業である) _o		
	妥当性	2 =	事務事業の目的			Α							
	当 的性	,											
		3. ∄	事務事業の目標	(活動指標寺)		Α							
	_	4. 🖥	†画の実施状況			A 水産	業や漁権	付が有するフ	K産物供給機能	※及び水質浄化	、文化継承	等の多面	的機能の発揮を
	有	5. E]標(活動指標	等)の達成度		A ^{支え}	ることがて	ごきた。					
	効	6	上位施策への貢献			Α							
評	性				_								
価		7. ₹	事業成果の同上	へのさらなる取組	ታ	Α							
	効	8. 3	コスト削減へのされ	らなる取組み		A 環境	保護にも	うつながる重	要な事業である	•			
	率	9. #	類似事業との統合	・ 代替の検討		Α							
	性		これまでの実施			В							
	総	10.		するためには、藻場	T 151/0 /	_	2+/	てチレクロ ケかナ ラ	*************************************	+ 7			
	合評	Α	主/母ノバグで]任道	ミタ のためたは、海沙	* 闷怀土	こで海牛利が色大	<기대 3 3 기	□϶ͶͲϤϻʹϾͺϳ	目泌する心安か	ຫຼາວ _ໍ			
	価	か中性		%任+ 士	理培伊基	にもつながる重要	三か車業	であるため	2] 李结本注動作	織との油堆をご	光化! 士!至っ	トス	
		の実施		維持 	水况休战	zにしノはガる里多	マダギ来	くのうりにめり、	コロルご 心野社	irtはCVJ生1万でり	エロロメ扱る	, o) o	
改		と ナウ		成果維持 									
革		卜方向		コスト維持									
案	ᄄ셔	P	(どのような効果)	か期付 (ごさるか)									

令	和	3年/	き 事務事	業評価表 (令和2年	度実績)			
事	務事	業名	給·大島漁	港あさり増養殖推進	事業費			担当所属	K 産課	
基	分	野	6産業·観光				事業期間	平成28年	∓度 ∼	
本情	基	本施策	1 農林水産業	の振興			会計種別			
報	推	進施策	3 生産体制の	強化と販路の拡大			実施計画	該当	総合戦略	
	Ż	寸 象	漁業者、市民			•				
事業	Ē	意図	国土交通省より造	成された大島人工干潟を有効	か活用するため、アサ!	の維持管理手	法及び干潟保全	活動組織への支	援を図る。	
概要	Б	成 果	干潟保全活動を実 にもつなげていく。	E施することでアサリの成育サイ	クルを確立させ、資源	量を安定させる	ることでアサリをブラン	ンド化するとともに	、都市住民を呼び〕	込み地域活性化
	11.	F 段	干潟内の被膜網の	管理及び定点におけるアサリの	の成育調査を行う。					
				指標名		単位		H31年度実	请 R2年度実績	R3年度見込
指	汪	動指標	あさりの資源量		目標値	k g	2	2	2	2
標	/=:	划月水			実績値	k g	1.6	1.2	1.2	-
					目標達成度	%	80.0	60.0	60.0	-
	_		(単位:千円)		平成30年度 決		1年度 決算	令和2年度		3年度 予算
		・タルコス	<u>(</u>	7,820	5,7		5,156		2,765	3,123
		事業費	国庫支出金	4,136	3,9	0	3,341 0		261 0	261 0
			^{到俾又山並} 県支出金	0		0	0		0	0
ב			t 也方債	0		0	0		0	0
- ス		18-⊁1-	受益者負担	0		0	0		0	0
 		源	その他	0		0	0		0	0
			数源 数据	4,136	3,9	62	3,341		261	261
		人件費		3,684	36	1,815		2,504	2,862	
		正職		3,684	1,8	36	1,815		2,504	2,862
			員以外	0	0		0		0	0
	.T-B		業費集計済分)	(0)		0)	(0)		(0)	(0)
	正明	或貝 哉員以夕	(人)	0.50	0.25		0.25		0.35	0.40 0.00
貝			N (A)	0.00)				
				0.00	0.00)	0.00		0.00	0.00
	開如	台時の周]辺環境				•			
周	開始	台時の周 島干潟は、]辺環境	9整備により発生した浚渫土砂			•			

現状の周辺環境

辺

環 境

現在では、アマモやアサリなどの干潟生物が多く生息していて、自然の干潟に劣らない環境が形成されている。

今後の予想される周辺環境

今後、円滑な漁業活動の実施に向けたアサリの生息状況調査及び、水産振興の視点から継続的な調査を実施することにより、アサリ漁場として活用することができる。

		評価項目	評価	評価の理由
	妥 _	1. 市の関与(税金支出)	В	アサリ育成場などの良好な海域環境の創出を図る。
	当前	2. 事務事業の目的(対象・意図)	В	
	性	3. 事務事業の目標(活動指標等)	Α	
	_	4. 計画の実施状況	В	資源量を安定させることでアサリをブランド化するとともに、都市住民を呼び込み地域活性化にも
	有効	5. 目標(活動指標等)の達成度	С	つなげていく。
評	性	6. 上位施策への貢献度	С	
価	-	7. 事業成果の向上へのさらなる取組み	В	
	効	8. コスト削減へのさらなる取組み	Α	アサリの資源量増加も含め、活動組織の活動内容等を向上させる余地はある。
	率	9. 類似事業との統合・代替の検討	Α	
	性	10. これまでの実施手段	В	
	総	効率的な干潟保全活動が図られるよう、引き網	売き支援が	必要である。
	合	R		

	今後の実施方向性	維持
改	成果方向性	成果維持
革	コスト方向性	コスト維持

干潟保全活動の主であるアサリの成育には、被覆網による食害対策を施す方法が効果があるが、被覆網の維持管理 作業が重労働となっている問題点がある。今後は、保全活動組織の干潟保全活動の労力負担の軽減及び、効率的 なアサリ育成の技術取得を図る必要がある。併せてアサリを活用した地域活性化策を検討する必要もある。 また、ア サリの稚貝が少ないため、母貝となる種苗を購入し放流する必要がある。